

全体講評（日本史）

例年と同様に、問題作成にあたっては高等学校の教科書に準拠し、その学習内容を基本とするよう留意した。2026年度入試における日本史問題の形式と出題方針は、次の(1)・(2)のとおりである。

- (1) 設問数は大問題が4問（Ⅰ～Ⅳ）で、すべてマークセンス方式とした。配点は、大問Ⅰ・Ⅱではそれぞれ小問が10問（20点）、大問Ⅲ・Ⅳではそれぞれ小問が15問（30点）で、合計100点である。ただし、2月5日実施の全学日程2では、法・文・経済・商・政策創造・人間健康学部を、2月6日・7日実施の全学日程2では、法・文・経済・商・社会・政策創造・人間健康学部を、3教科型【同一配点方式】で受験した場合の配点は、大問Ⅰ・Ⅱがそれぞれ10問(30点)、大問Ⅲ・Ⅳがそれぞれ15問（45点）で、合計150点となる。
- (2) 試験問題は、全時代にわたる政治・経済・社会・文化・対外関係などの各分野から、幅広く出題するように努めた。難易度にも留意し、問題の組み合わせを慎重に検討して、各日程間の平均点に大きな差異が出ないように配慮した。

本年度の入学試験結果から見た受験対策上の注意点は、次の(a)～(e)のとおりである。

- (a) まずは教科書をしっかり読み通し、日本史の流れを正確に把握することが重要である。これを基礎に置き、用語集や図録・図説などによって知識を整理しながら、さらに積み上げることが望ましい。また受験勉強の合間に、博物館や史跡・寺社などを見学することをすすめたい。自分自身で体感した歴史資料や文化遺産に関する情報は、確実に身に付くからである。
- (b) 断片的な知識の暗記だけでは、正答を導くことが難しい。それぞれの時代における政治の動きや社会・経済のしくみ、文化のあり方、および重要な事件や組織・人物の関係、活動時期や作品・著作物、地名などを相互に関連づけて理解することが求められる。日本史の各事象を立体的に把握し、広い視野から歴史の問題を考える習慣をつけておくことが重要である。また、現代に繋がる歴史の理解が深まり、知識の幅も広がるので、日頃から関連するニュースなどにも親しんでほしい。
- (c) 史料問題の正答率は、日によって高低があった。とくに史料の本文を読解する問題は正答率が低かった。史料集に収められた重要史料とその解説に、注意を払うことが引き続き重要である。
- (d) 問題文をしっかりと読まず、表面的な理解だけでわかったつもりになり、誤答を選択するものが少なくなかった。問題文の中には正答を導き出すヒントが隠されている場合が多い。問題文を何度も慎重に読み解き、試験時間中に熟考することで、正答に到達するような姿勢を身に付けてほしい。
- (e) 歴史的に重要な地名や施設・遺跡などの位置を地図中に探し求める問題や、写真に関する問題の正答率が、本年度もかなり低かった。教科書や図録・図説に掲載されている地図・写真・図・表・年表などにはできるだけ目を通し、旧国名とその位置だけでなく、重要な史跡・寺社・文化遺産などの位置についても把握するようにしてほしい。

2026 年度 入 学 試 験 問 題

日 本 史

注 意 事 項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙はすべて黒鉛筆(HB)〈シャープペンシルは、HB 0.5 mm 以上の芯であれば使用可〉で記入することになっています。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- III 解答用紙右端の出席票に印刷されている受験番号を確認してください。間違いがなければ氏名欄に署名し、切取線から切り離してください。
- IV 試験時間は 60 分です。
- V 問題は 12 ページで大問 4 問です。

マーク記入上の注意

1. 解答欄にマークするときは、HB の黒鉛筆で次の正しい例のように、濃く正確にぬりつぶしてください。

2. マークのしかた

(ア) 正しい例

a 解答が 1 つの場合、例えばイと解答するときは

(1)

○	●	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---

 のように、マークしてください。

b 解答が 2 つの場合、例えばイとウと解答するときは

(1)

○	●	○	○	○	○
○	○	●	○	○	○

 または

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 のように各 1 つずつマークしてください。

(イ) 悪い例

(1)

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 ○印でかこむ。

(2)

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 全部をぬりつぶしていない。

(3)

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 レ印をつける。

(4)

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 1 印をつける。

(5)

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 1 欄に 2 つ以上マークする。

このような記入をしてはいけません。

3. 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。

(1)

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 のように×印をしても消したことはありません。

4. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、また汚したりしないでください。

〔I〕 次の(A)～(D)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 江戸時代前期には、幕藩体制の安定にともない、さまざまな学問が発達した。その一つに中国渡来の医学や薬学があり、植物や動物、鉱物の薬用効果を研究する本草学が盛んになった。やがてそれは、自然物を観察し分類、記録する博物学へと発展し、18 世紀初頭には(1)が『大和本草』を著した。また、中国の漢時代の医術に立ち返り、臨床実験を重視する一派も生まれた。その一人である山脇東洋は刑死人の解剖に立ち会い、日本人による最初の解剖図録である『(2)』を著したことで知られる。

(B) 18 世紀には蘭学が発達し、医学にも大きな影響を与える。安永 3 年(1774)には、杉田玄白や前野良沢らが、(3)の解剖書のオランダ語訳本『ターヘル＝アナトミア』を翻訳した『解体新書』を刊行する。これを機に洋学への関心はいっそう高まり、大槻玄沢は江戸に(4)という蘭学塾を開いた。また、杉田や前野と交流のあった(5)は、西洋の内科学書の翻訳本である『西説内科撰要』を刊行した。

(C) 19 世紀には、シーボルトが長崎郊外に(6)を開設して、日本人に西洋医学を教えた。彼は、文政 11 年(1828)の帰国時に、国防上の観点から持ち出しを禁じられていた日本地図を所持していたことが発覚して国外追放の処分を受け、地図を渡した罪を問われた天文方の(7)も投獄されて獄死した。しかし、シーボルトが持ち帰ったその他の日本の膨大な品々は、その後の西洋での日本研究の礎となった。

(D) 明治時代になると、政府は西洋の学問や技術を輸入するため、外国人教師を雇い入れた。東京で医学を教えたドイツ人の(8)の日記や手紙は、西洋人が当時の日本をどう見ていたかが分かる貴重な資料となっている。医学を学ぶため西洋にわたる日本人も現われ、そのなかには破傷風の血清療法を確立した北里柴三郎や、赤痢菌を発見した(9)など、すぐれた研究業績で国際的に認められる者もいた。大正時代に入ると、野口英世が南米やアフリカで(10)の研究に取り組んだが、自らもその病気に感染し、現在のガーナ共和国で亡くなった。

〔語群〕

- | | | |
|----------|-----------|--------------|
| (ア) 鈴屋 | (イ) 高橋景保 | (ウ) 頼医抄 |
| (エ) 医書大全 | (オ) 貝原益軒 | (カ) イタリア |
| (キ) 伊能忠敬 | (ク) 芝蘭堂 | (ケ) 黄熱病 |
| (コ) ドイツ | (サ) 稲生若水 | (シ) 稲村三伯 |
| (ス) モース | (セ) 高峰譲吉 | (ソ) イギリス |
| (タ) 鳴滝塾 | (チ) 蔵園塾 | (ツ) コンドル |
| (テ) 宮崎安貞 | (ト) 天然痘 | (ナ) 蔵志 |
| (ニ) 高橋至時 | (ヌ) 宇田川榕庵 | (ネ) 鈴木梅太郎 |
| (ノ) 懷徳堂 | (ハ) 志賀潔 | (ヒ) 適塾(適々斎塾) |
| (フ) 結核 | (ヘ) 宇田川玄隨 | (ホ) ベルツ |

〔Ⅱ〕 次の(A)・(B)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 飛鳥時代の終わってから奈良時代にかけての政治史を概観すると、当時の政権を掌握し、政策を押し進めたのは藤原氏や皇族などであった。藤原氏の祖である鎌足の子、不比等は娘の(1)を文武天皇の夫人とし、(2)との間にもうけた光明子を皇太子首親王(のち聖武天皇)の妃とするなど、天皇家と外戚関係を結ぶことで影響力を強め、政界で力を握った。

不比等が進めた施策の一つが律令の制定であり、(3)のもとで大宝律令の編纂に関わり、文武天皇の代に、律と令が揃った形で完成させた。日本の律令は唐の律令にならないが、日本の実情に合わせて改められた箇所もみられる。唐の律令を参照・学習するに当たっては、遣唐留学生や在留唐人が果たした役割が大きかったといえる。

大宝律令の制定によって、中央行政組織は二官八省一台五衛府から構成された。地方組織としては、全国が畿内・七道に行政区分され、国・郡・里が置かれ、国司・郡司・里長が任じられた。このうち、国司は中央から貴族が派遣されたが、郡司はかつての国造などの地方豪族が任じられた。

(B) 藤原不比等が没すると、その後を受けて政権を掌握したのが、天武天皇の孫に当たる(4)であった。右大臣になった彼は、土地政策などに取り組んだ。その背景には、当時人口が増加して口分田が不足する一方、班田農民は負担過重のため、口分田を捨てて戸籍に登録された地を離れて他国に(5)し、調・庸も納めない者が増えていたことがあった。そのため、政府は口分田の不足をおぎない、税の増収をはかる必要から養老7年(723)に三世一身法を施行した。また、この頃の外交関係として、日本と(6)との関係が悪化する一方、大祚榮が建国した(7)との間では、親密な使節の往来が行われた。関係が良好であった理由には、この国が(6)や唐と対立しており、日本と通好することでこれに対抗する意識があったと考えられている。

(4)が策謀によって自害したのち、不比等の子の四兄弟が政権の中枢に

あったが、疫病によって次々と亡くなった。その後の政権では藤原氏の勢力が減退したため、不比等の孫で藤原(8)家出身の広嗣は九州で大規模な反乱を起こし、やがて鎮圧された。乱の平定後、聖武天皇は木津川沿いの(9)に遷都した。その後も、数年のあいだに都を転々と移した。

聖武天皇が孝謙天皇に譲位すると、光明皇太后の信任を得た(10)が勢力を伸ばした。それに対して橘奈良麻呂は(10)政権を倒そうとするが、失敗に終わった。

〔語群〕

(ア) 靺鞨	(イ) 藤原武智麻呂	(ウ) 刑部親王
(エ) 長屋王	(オ) 逃亡	(カ) 渤海
(キ) 恭仁京	(ク) 舎人親王	(ケ) 紫香楽宮
(コ) 新羅	(サ) 新田部親王	(シ) 逃散
(ス) 百濟	(セ) 契丹	(ソ) 県犬養三千代
(タ) 難波宮	(チ) 北	(ツ) 藤原仲麻呂
(テ) 井上内親王	(ト) 高市皇子	(ナ) 式
(ニ) 長嶼子	(ヌ) 道鏡	(ネ) 吉備内親王
(ノ) 橘諸兄	(ハ) 南	(ヒ) 宮子
(フ) 県犬養刀自	(ヘ) 浮浪	(ホ) 高句麗

〔Ⅲ〕 次の(A)～(D)の各史料に関する問1～問15について、(ア)～(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

(A) 法皇の御時初めて出来せし事
① 受領の功万石万疋進上の事
十余歳の人受領と成る事
(三十) 卅 余国定任の事
我身より始めて子三四人に至り、同時に受領と成る事
神社仏事封家の納、諸国の吏全く弁済すべからざる事
天下の過差日を逐うて倍増し、金銀錦繡、下女の装束と成る事
御出家の後、御(②)無き事 (『中右記』)

問1 下線部①の「法皇」は誰のことか。

(ア) 崇徳 (イ) 鳥羽 (ウ) 白河

問2 法皇は、出家後も天皇家の家長として政治権力を握り続け世俗生活を送った。(②)には、僧侶になるために必須の儀式が入るが、何か。

(ア) 受戒 (イ) 遁世 (ウ) 物忌

問3 この史料、『中右記』の作者は誰か。

(ア) 藤原宗忠 (イ) 藤原道長 (ウ) 藤原実資

問4 この史料が示す内容として、最も適当なものはどれか。

(ア) 法皇は神仏に帰依して出家後、きちんとした僧侶としての生活を送っていた。
(イ) 法皇は恣意的な人事を行い受領を推挙し、彼らが納める財物によって経済力を充実させた。
(ウ) 法皇は従来の朝廷政治の方針を守り積極的に人材登用を行った。

(B) そのこども、詩を作りて歌に合はせ侍りしに、水郷ノ春望といふ事を 太上天皇
見渡せば 山もと霞むみなせ川 タベは秋と何思ひけん ③

だいしらず 寂蓮法師
さびしさは其の色としもなかりけり まき立つ山の秋の夕暮

(④)法師
心なき身にもあはれはしられけり 鳴立つ沢の秋の夕暮

(④)法師、すゝめて、百首歌よませ侍りけるに 藤原定家朝臣
み渡せば 花ももみぢもなかりけり 浦の苫屋の秋の夕ぐれ ⑤

(『新古今和歌集』)

問5 下線部③の「太上天皇」は、この勅撰和歌集の編纂を命じ、編集にも心血を注いだ人物であるが、誰か。

(ア) 後白河上皇 (イ) 後嵯峨上皇 (ウ) 後鳥羽上皇

問6 (④)は、もと北面の武士で、出家後に諸国をめぐり和歌を詠んだ人物である。没後、この勅撰和歌集に最も多く和歌が採用されたことで名声が高まった。それは誰か。

(ア) 兼好 (イ) 西行 (ウ) 慈円

問7 下線部⑤の人物は、源平内乱期から承久の乱以後までの日記を書いている。それは何か。

(ア) 『十六夜日記』 (イ) 『玉葉』 (ウ) 『明月記』

問8 武士の中にも和歌に親しみ、藤原定家の指導を受けて自らの和歌集『金槐和歌集』を遺した人物もいた。それは誰か。

(ア) 源実朝 (イ) 北条実時 (ウ) 安達泰盛

(C) 鎌倉元の如く柳営たるべきか、他所たるべきや否やの事

(中略) 就中、鎌倉郡は、文治に右幕下始めて武館を構へ、(⑥)に義時朝臣天下を并吞す。武家に於いては、尤も吉土と謂ふべきか。爰に禄多き権重く、驕を極め欲を恣にし、悪を積みて改めず。果たして滅亡せしめ了んぬ。縦ひ他所たりと雖も、近代覆車の轍を改めずば、傾危何の疑ひ有るべけんや。(中略) 然らば居処の興廃は、政道の善惡に依るべし。是れ人凶は它凶に非ざるの謂なり。但し、諸人若し遷移せんと欲せば、衆人の情に随ふべきか。

政道の事

右、時を量り制を設く。和漢の間、何の法を用ひらるべきか。先づ武家全盛の跡を逐ひ、尤も善政を施さるべきか。然らば宿老・評定衆・公人等濟々たり。故実を訪はんに於いて、何の不足あるべきか。古典に曰く、徳は是れ嘉政、政は民を安んずるに在りと云々。早く万人の愁を休むるの儀、速かに御沙汰有るべきか。其の最要 粗 左に註す。(以下略)

(「建武式目」)

問9 (⑥)に入る年号は何か。

(ア) 永仁 (イ) 治承 (ウ) 承久

問10 下線部⑦の事件に際し、上野国で挙兵して鎌倉に攻め入った人物は誰か。

(ア) 名和長年 (イ) 新田義貞 (ウ) 赤松則村

問11 下線部⑧は、執権政治の全盛期を指すが、具体的な人名としては誰が適当か。

(ア) 北条時政・政子 (イ) 北条義時・泰時 (ウ) 北条貞時・高時

問12 「建武式目」は、中原章賢(是円)らが諮問に答える形でまとめ、提出されたものである。誰に対して答申されたのか。

(ア) 後醍醐天皇 (イ) 高師直 (ウ) 足利尊氏

(D) 条々

(第1条) 一 諸国百姓、刀、脇指、弓、やり、てつはう、其外武具のたぐひ所持候事、堅く御停止候。其子細は、入らざる道具をあひたくはへ、年貢・所当を難決せしめ、自然、(⑨)を企て、給人にたいし非儀の動をなすやから、勿論御成敗有るべし。然れば、其所の田畠不作せしめ、知行ついでになり候の間、其国主、給人、代官として、右武具悉く取りあつめ、進上致すべき事。
(第2条) 一 右取をかるべき刀、脇指、ついでにさせらるべき儀にあらざ候の間、今度大仏御建立の釘、かすかひに仰せ付けらるべし。然れば、今生の儀は申すに及ばず、来世までも百姓たすかる儀に候事。
(第3条) 一 百姓は農具さへもち、耕作専に仕候へハ、子々孫々まで長久に候。百姓御あはれミをもって、此の如く仰せ出され候。誠に国土安全万民快樂の基也。(中略) 各其趣を存知、百姓は農桑を精に入べき事。
右道具急度取集め、進上有るべく候也。

(1588) 天正十六年七月八日 (秀吉朱印)

(「小早川家文書」)

問13 (⑨)に入る語は、次のどれか。

(ア) 一揆 (イ) 強訴 (ウ) 逃散

問14 下線部⑩の大仏が造営された寺は、次のどこか。

(ア) 本願寺 (イ) 大徳寺 (ウ) 方広寺

問15 この文書が出された年に、豊臣秀吉は聚楽第に天皇を招いてその権勢を示した。この時の天皇は誰か。

(ア) 正親町 (イ) 後陽成 (ウ) 後水尾

〔Ⅳ〕 次の(A)～(E)各文の(1)～(10)について、語群の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。あわせて、各文の下線部「この地」の位置を、地図のa～jから選び、その記号もマークしなさい。なお、地図の一部は省略している。

(A) 江戸幕府は島原の乱を鎮圧した後、(1)船の来航を禁止した。さらに平戸にあったオランダ商館を長崎の出島に移し、オランダ人と日本人の自由な交流を禁じた。平戸および長崎のオランダ商館は、この地にオランダが置いた東インド会社の日本支店であった。こうして日本は、以後、200年余りにわたって長崎のオランダ商館、中国の民間商船や朝鮮、琉球、アイヌ民族以外との交流を閉ざすことになった。オランダ船、中国船との貿易港は長崎港に限られた。

ドイツ人医師・博物学者のケンペルは、医師としてオランダ商館に勤めた後、日本研究の書である『(2)』を著した。その一部は、元オランダ通詞の志筑忠雄によって「鎖国論」の題で1801年に訳された。江戸幕府がとった対外政策に鎖国という言葉が用いられるのは、これ以降のこととされる。

(B) 国後島と知床半島の目梨のアイヌが蜂起して松前藩に鎮圧されたこともあり、江戸幕府はアイヌとロシアが連携する可能性を警戒した。そうした中で、根室にロシア使節のラクスマンが来航し、漂流民を送り届けるとともに通商を求めてきた。一方で、この頃、ロシア人が択捉島で現地のアイヌと交易を行っていたことを受けて、幕府は近藤重蔵や最上徳内らを択捉島に赴かせ、「大日本恵登呂府」の標柱を立てさせた。さらに(3)国八王子を中心に居住していた千人同心の子弟100人を蝦夷地に入植させ、東蝦夷地を直轄地とし、アイヌに対する同化政策を始めた。

その後、ロシア使節のレザノフが長崎に来航したが、幕府が追い返したため、ロシア軍艦が樺太や択捉島を攻撃する事態となった。驚いた幕府は、松前藩と蝦夷地すべてを松前奉行の支配下に置き、間宮林蔵にも樺太方面を探索させた。この間宮の行路には、この地も含まれていた。ロシアとの緊張関係は、グローウニン事件を契機として改善された。この事件では、ロシア軍艦の艦長である

グローウニンが、国後島などを測量中に日本の警備兵に捕らえられたが、択捉航路を開拓した淡路の商人である(4)の尽力により解放された。

(C) 明治政府は、清を宗主国とし、鎖国政策をとっていた朝鮮に対して国交樹立を求めたが、交渉は進まなかった。右大臣の(5)や大久保利通らが不平等条約の改正に向けてアメリカ・ヨーロッパに派遣されている中、留守政府を預った西郷隆盛らは征韓論を主張した。大久保らが帰国すると、朝鮮への対応をめぐって政府内で論争となり、西郷らは下野するに至った。その後、この地で軍艦の雲揚が朝鮮側を挑発し、戦闘に発展したことをきっかけとして、日本は朝鮮と日朝修好条規を結び、朝鮮を開国させた。

この頃、政府の急激な改革により旧来の特権を失い、不満を募らせた不平士族たちが各地で反乱を起こした。その最大規模の反乱が、西郷隆盛を首領とする鹿児島士族らによって引き起こされた西南戦争であった。西郷は政府軍に敗れて自刃したが、死後も悲劇の英雄として人気を集め、1898年には上野公園で「西郷隆盛像」の除幕式が行われた。この銅像の木像原型は、「老猿」などの作品でも知られる彫刻家の(6)が中心となって制作したものである。

(D) ヨーロッパでの戦争が拡大すると、日本は第2次大隈重信内閣の外務大臣である(7)の主導により、ドイツに宣戦布告した。第一次世界大戦の休戦後に調印されたヴェルサイユ条約で、日本は山東省の旧ドイツ権益の継承を認められるとともに、赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島の委任統治権を得た。その後、日本は山東半島の旧ドイツ権益を中国に返還したが、赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島に対しては南洋庁を置いて統治を進めた。

日本の国際連盟脱退後も、南洋庁による旧ドイツ領南洋諸島の統治は継続された。さらに日本は太平洋戦争緒戦の勝利の中でアメリカ領のグアム島も占領し、同島を「大宮島」と名付けた。この太平洋戦争開戦前後の南洋庁には、『山月記』などの作品で知られる小説家の(8)も勤務していた。ミッドウェー海戦を機にアメリカの対日反攻作戦が本格化し、この地の陥落により絶対国防圏の一角が崩壊すると、その責任をとって東条英機内閣は総辞職した。

(E) 日本の敗戦後、中国では国民党と共産党の内戦が行われていたが、共産党が国民党に勝利し、この地で毛沢東が中華人民共和国の成立を宣言した。さらに中ソ友好同盟相互援助条約の成立により、中華人民共和国は東側陣営に加わった。その一方で国民党は台湾に逃れ、アメリカの支援を受けながら蒋介石を総統とする中華民国政府を存続させた。

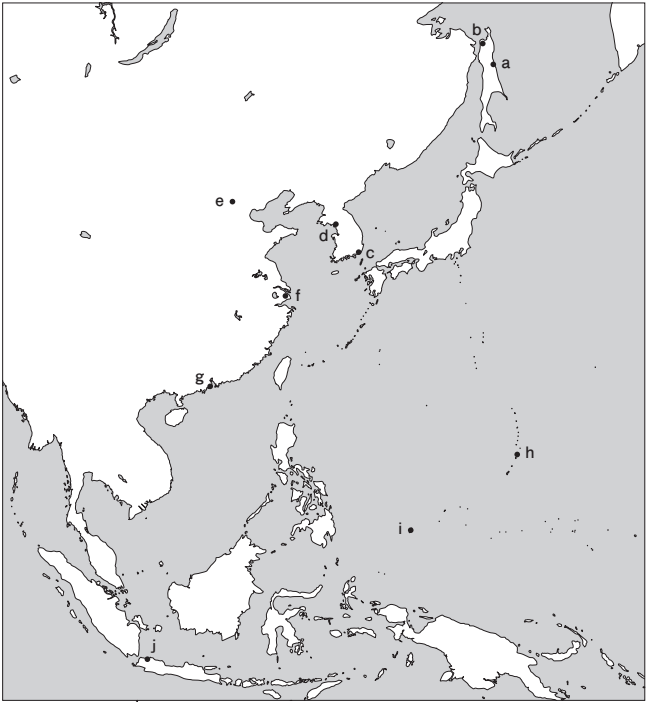
朝鮮半島では、中華人民共和国の成立に刺激された朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が大韓民国(韓国)に侵攻し、朝鮮戦争が始まった。国連軍としてのアメリカ軍が韓国側に立って北朝鮮軍を押し戻し、中国国境に迫ると、中国人民義勇軍が北朝鮮側に参戦し、戦線は北緯38度線付近で膠着状態となった。国連軍司令官のマッカーサーは、戦局を開閉するため中国東北部の爆撃を主張したが、戦争の拡大を避けたいアメリカ大統領の(9)によって解任された。

サンフランシスコ講和会議の開催に際して、中国は日本との主要交戦国であったにもかかわらず、中華人民共和国と中華民国のいずれも招かれなかった。サンフランシスコ平和条約の発効と同じ日、日本は中華民国と日華平和条約を締結した。その後、東西両陣営内で「多極化」が進む中で、(10)内閣は「政経分離」の方針に基づき、中華人民共和国との貿易の拡大を目指して、国交のない同国とLT貿易の取り決めを結んだ。

〔語群〕

- | | | |
|------------|-------------|--------------------|
| (ア) 甲斐 | (イ) 日欧文化比較 | (ウ) 中島敦 |
| (エ) 高田屋嘉兵衛 | (オ) イギリス | (カ) 有栖川宮熾仁親王 |
| (キ) 荻原守衛 | (ク) 後藤新平 | (ケ) 大君の都 |
| (コ) 幣原喜重郎 | (サ) 日本誌 | (シ) 高村光雲 |
| (ス) 三条実美 | (セ) 川端康成 | (ソ) フランクリン＝ローズヴェルト |
| (タ) トルーマン | (チ) 佐藤栄作 | (ツ) ボルトガル |
| (テ) 岸信介 | (ト) アイゼンハワー | (ナ) 相模 |
| (ニ) スペイン | (ス) ジョン万次郎 | (ネ) 加藤高明 |
| (ノ) 武蔵 | (ハ) 池田勇人 | (ヒ) 火野葦平 |
| (フ) 平櫛田中 | (ヘ) 岩倉具視 | (ホ) 大黒屋光太夫 |

《地図》



(以上)

2026 年度 入 学 試 験 問 題

日 本 史

注 意 事 項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙はすべて黒鉛筆(HB)〈シャープペンシルは、HB 0.5 mm 以上の芯であれば使用可〉で記入することになっています。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- III 解答用紙右端の出席票に印刷されている受験番号を確認してください。間違いがなければ氏名欄に署名し、切取線から切り離してください。
- IV 試験時間は 60 分です。
- V 問題は 14 ページで大問 4 問です。

マーク記入上の注意

1. 解答欄にマークするときは、HB の黒鉛筆で次の正しい例のように、濃く正確にぬりつぶしてください。

2. マークのしかた

(ア) 正しい例

a 解答が 1 つの場合、例えばイと解答するときは

(1)

○	●	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---

 のように、マークしてください。

b 解答が 2 つの場合、例えばイとウと解答するときは

(1)

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 または

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 のように各 1 つずつマークしてください。

(イ) 悪い例

(1)

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 ○印でかこむ。

(2)

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 全部をぬりつぶしていない。

(3)

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 レ印をつける。

(4)

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 1 印をつける。

(5)

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 1 欄に 2 つ以上マークする。

このような記入をしてはいけません。

3. 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。

(1)

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 のように×印をしても消したことはありません。

4. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、また汚したりしないでください。

〔Ⅰ〕 次の(A)～(D)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 1853 年、(1)を経由して浦賀に來航したペリーは、日本に開国を求めた。翌年、ペリーは再び來航し、幕府は日米和親条約を結んだ。この条約によって領事の駐在が認められ、ハリスが初代アメリカ総領事として(2)に赴任した。ハリスは幕府に対して通商条約の締結を要求したが、これに対して老中首座の(3)は、孝明天皇に条約調印の勅許を求めた。しかし、朝廷内では攘夷を求める声が高く、勅許を得ることはできなかった。こうして、幕府は勅許を得ないまま、1858 年に日米修好通商条約に調印することになった。

(B) 1898 年に、(4)を与党として、我が国はじめての政党内閣である第 1 次大隈重信内閣が成立した。しかし、政党内部での対立もあって、内閣は 4 カ月で退陣した。かわって成立した第 2 次山県有朋内閣は(5)を改正して、政党勢力の影響力が官僚制内に及ぶのを防ごうとした。その後、この法令は、(6)を与党とする第 1 次山本権兵衛内閣によって再び改正され、官僚制への政党勢力の影響力拡大が図られた。

(C) 1922 年に成立したソ連は、1934 年に(7)に参加するなど、国際社会における影響力を拡大させていった。これに対して 1936 年、(8)内閣は、すでに(7)から脱退していたドイツと防共協定を結んだ。翌年には、イタリアもこれに加わった。こうして、日本・ドイツ・イタリアの 3 国は、反ソ連の立場で結束することになった。

(D) 1982 年に首相となった中曽根康弘は、ソ連との対決姿勢を強める(9)大統領と親交を深め、日米防衛協力の強化を進めた。また財政再建にも積極的に取り組んだが、大型間接税の導入には失敗した。続いて首相となった竹下登も大型間接税の導入に取り組む、1989 年度から消費税が税率を(10)として実施された。その後、財政赤字が累積するとともに、数度にわたって、消費税率の引き上げが行われた。

〔語群〕

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| (ア) 阿部正弘 | (イ) 九カ国条約 | (ウ) 5 % |
| (エ) 憲政党 | (オ) 立憲同志会 | (カ) 堀田正睦 |
| (キ) 樺太 | (ク) 国際連盟 | (ケ) 近衛文磨 |
| (コ) 議討律 | (サ) 下田 | (シ) ニクソン |
| (ス) 立憲改進黨 | (セ) レーガン | (ソ) 治安維持法 |
| (タ) 朝鮮 | (チ) 長崎 | (ツ) 3 % |
| (テ) 憲政会 | (ト) 広田弘毅 | (ナ) 文官任用令 |
| (ニ) 国際連合 | (ヌ) ブッシュ | (ネ) 横浜 |
| (ノ) 米内光政 | (ハ) 8 % | (ヒ) 立憲政友会 |
| (フ) 安藤信正 | (ヘ) 立憲民政党 | (ホ) 琉球 |

〔Ⅱ〕 次の(A)～(E)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 平安時代の末期になると戦乱が続き、疫病、天変地異なども頻繁に発生したため、人びとの不安がますます高まっていた。そのため、仏教界でも新しい宗派を開く動きが出てきた。(1)出身の法然は、念仏を唱えたと死後は平等に極楽へ往生できると説いた。法然は公家や武士たちから帰依を集め、九条兼実の求めに応じて『(2)』を著した。

(B) 源平の合戦で焼失した南都の寺院の再興がはかられ、東大寺再興の大勸進職には重源が就き、大仏殿の再建などを行った。その過程で、運慶や快慶ら慶派の仏師たちが南都の寺院で諸仏の造立に活躍した。二人が一門の仏師たちと協力して造立した東大寺南大門金剛力士像のほかにも、運慶の作品として(3)が現在も残っている。重源の後、2代目の東大寺大勸進職には、重源とともに入宋した経験があり、『(4)』を著した栄西が就任した。

(C) 歌集『(5)』を編んだ西行も、東大寺再興の勸進のため、文治2年(1186)に京都から鎌倉を経て陸奥国平泉へ向かい、奥州藤原氏から東大寺へ砂金を寄進してもらうことに成功した。京・鎌倉間の東海道の往来も盛んになっていき、鎌倉時代には紀行文も記された。旅をする女性も多くなり、阿仏尼は旅の様子を『(6)』にまとめた。

(D) 南北朝時代から室町時代になると、朝廷や公家、武家などの儀式、法令、慣習など、過去の先例や知識について研究する有職故実が盛んになった。後醍醐天皇は朝廷の年中行事を記した『建武年中行事』をまとめ、一条兼良は『(7)』を著した。和歌では、『古今和歌集』が歌学の聖典として重んじられ、解釈について語句の一部を秘伝とし、口授する古今伝授が行われた。さらに、連歌が盛んになり、二条良基は連歌の規則をまとめた『(8)』を著した。

〔Ⅲ〕 次の(A)～(C)の各史料に関する問1～問15について、(ア)～(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

(A) 貧窮問答の歌一首 短歌を并せたり
風雑^{まじ}へ 雨降る夜の 雨雑^{まじ}へ 雪降る夜は 術^{すべ}もなく 寒くしあれば 堅塩^{けんえん}を 取りつづしろひ 糟湯酒^{そうとうしゆ} うち嘸^{すろ}ろひて 咳^{せき}かひ 鼻^{はな}びしびしに しかとあらぬ 鬚^{ひげ}かき撫^なでて 我^{われ}を除きて 人^{ひと}は在^あらじと 誇^ほろへど 寒くしあれば 麻袈^{あさあさま} 引き褓^{かひう}り 布肩衣^{ふかたぎぬ} 有^ありのことごと 服襲^{ふくき}へども 寒き夜すらを 我よりも 貧^ひしき人の 父母^{ふぼ}は 飢^うゑ寒^{さむ}やらむ め^めこどもは 吟^{うた}び泣^なくらむ 此^この時^{とき}は 如何^{いか}にしつつか 汝^{なんぢ}が世^よは渡る
天地^{あめつち}は 広^{ひろ}しといへど 吾^{われ}が為^{ため}は 狭^{せま}くやなりぬる 日月^{にげつ}は 明^あしといへど 吾^{われ}が為^{ため}は 照^てりや給^{たま}はぬ 人^{ひと}皆^{みな}か 吾^{われ}のみや然^{しか}る わくらばに 人^{ひと}とはあるを 人^{ひと}並^{なら}に 吾^{われ}も作^{つく}るを 綿^{わた}も無^なき 布肩衣^{ふかたぎぬ}の如^{ごと}く わわけさがれる 檻^か樓^{ろう}のみ 肩^{かた}にうち懸^かけ 伏^ふ廬^ろの 曲^{まげ}廬^ろの内に 直^{ひた}土^{つち}に 薬^{くすり}解^とき敷^ききて 父^{ちち}母^{はは}は 枕^{まくら}の方に 妻^{つま}子^こどもは 足^{あし}の方に 囲^{かこ}み居^ゐて 憂^{うれ}へ吟^{うた}ひ 竈^{かまど}には 火^ひ氣^けふき 立^たてず 甌^{こしり}には 蜘蛛^{いしかし}の巣^す懸^かきて 飯^{いひ}炊^かく 事^{こと}も忘^{わす}れて 鷓^{うさどり}鳥^{とり}の 呻^{のど}吟^{うた}ひ居^ゐるに いとのきて 短^{たん}き物^{もの}を 端^{はし}截^きると 云^いへるが如^{ごと}く 楚^{しよ}取^とる 五十^{いそ}戸^と良^らが 声^{こゑ}は 殺^{ころ}屋^や処^{どころ}まで 来^き立ち呼^よびひぬ 斯^{しか}くばかり 術^{すべ}無^なきものか 世^よ間^まの道^{みち} 世^よ間^まを 憂^{うれ}しとやさしと 思^{おも}へども 飛^とび立^たちかねつ 鳥^{とり}にしあらねば

問1 この史料の出典は何か。

(ア)『懷風藻』 (イ)『古今和歌集』 (ウ)『万葉集』

問2 この史料の作者である山上憶良は遣唐使の一員として入唐しているが、その入唐時期と身分の組み合わせとして正しいものはどれか。

(ア) 702年・遣唐少録 (イ) 752年・遣唐大使
(ウ) 804年・遣唐訳語

(E) 足利義満は五山・十刹の制を定めて臨濟宗を保護し、五山の僧侶を政治顧問として招いた。夢窓疎石の弟子の(9)は、禪宗寺院の管理と人事をつかさどる僧録に任命され、義満が建てた花の御所に隣接する相国寺の創建に尽力し、政治にも関わった。室町時代には禪宗文化が普及し、墨の濃淡で描かれた水墨画や、岩石や砂利を組み合わせる象徴的な自然をつくり出した枯山水の庭園が盛んに造られた。また、禪院内では茶を喫することが日常的に行われていたが、村田珠光が出て侘茶を始め、(10)に引き継がれた。

〔語群〕

(ア) 応安新式	(イ) 選択本願念仏集	(ウ) 千載和歌集
(エ) 樵談治要	(オ) 武野紹鷗	(カ) 禁秘抄
(キ) 東関紀行	(ク) 春屋妙葩	(ケ) 美作国
(コ) 東大寺僧形八幡神像	(サ) 安房国	(シ) 花鳥余情
(ス) 職原抄	(セ) 摧邪輪	(ソ) 十六夜日記
(タ) 金槐和歌集	(チ) 山家集	(ツ) 興福寺天灯鬼・竜灯鬼像
(テ) 正法眼藏	(ト) 義堂周信	(ナ) 海道記
(ニ) 公事根源	(ヌ) 東常縁	(ネ) 立正安国論
(ノ) 興禪護国論	(ハ) 瑞溪周鳳	(ヒ) 伊予国
(フ) 興福寺無著・世親像	(ヘ) 池坊専慶	(ホ) 教行信証

問3 下線部①の「日月は」に関連して、「日」と「月」を描いた壁画古墳はどれか。

(ア) 中尾山古墳 (イ) キトラ古墳 (ウ) 石舞台古墳

問4 下線部②の「伏廬の 曲廬の内に 直土に 薬解き敷きて」からうかがわれる当時の人びとの住居の様子について述べた文として、最も適当なものはどれか。

(ア) 堅穴住居の中の土間に薬を敷きつめて暮らしていた。
(イ) 掘立柱造りの建物に、板敷きを巡らせて暮らしていた。
(ウ) 礎石の上に柱を建て、土間作りの空間に暮らしていた。

問5 下線部③の「五十戸良」は大宝令では何と呼ばれたものか。

(ア) 郡司 (イ) 里長 (ウ) 国司

(B) コノ後三条位ノ御時、(中略)(⑤)ノ記録所トテハジメテヲカレタリケルハ、諸国七道ノ所領ノ宣旨・官符モナクテ公田ヲカスル事、一天四海ノ巨害ナリトキコシメシツメタリケルハ、スナハチ宇治殿ノ時、一ノ所ノ御領御領トモニ云テ、庄園諸国ニミチテ受領ノツトメタヘガタシナド云ヲ、キコシメシモチリケルニコソ。サテ宣旨ヲ下サレテ、諸人領知ノ庄園ノ文書ヲメサレケルニ、宇治殿ヘ仰ラレタリケル御返事ニ、「皆サ心エラレタリケルニヤ、五十余年君ノ御ウシロミヲツカウマツリテ候シ間、所領モチテ候者ノ強縁ニセンナド思ツ、ヨセタビ候ヒシカバ、サニコソナンド申タルバカリニテマカリスギ候キ。ナンデウ文書カハ候ベキ。(中略)ト、サハヤカニ申サレタリケレバ、アダニ御支度サウイノ事ニテ、ムゴニ御案アリテ、別ニ宣旨ヲクダサレテ、コノ記録所ヘ文書ドモメスコトニハ、前太相国ノ領ヲバノゾクト云宣下アリテ、中々ツヤツヤト御沙汰ナカリケリ。(以下略)

問6 この史料の出典は何か。

(ア)『百鍊抄』 (イ)『大鏡』 (ウ)『愚管抄』

問7 下線部④「後三条」天皇の父母は誰か。その組み合わせとして正しいものを選び。

- (ア) 後朱雀天皇・禰子内親王 (イ) 後一条天皇・藤原威子
(ウ) 後冷泉天皇・藤原寛子

問8 「後三条」天皇の施策を述べた文として正しいものはどれか。

- (ア) 不正な荘園を停止する荘園整理令をはじめて発布した。
(イ) 公定枋である宣旨枋が定められた。
(ウ) 藤原行成らのすぐれた人材を登用した。

問9 文中の(⑤)に入る年号はどれか。

- (ア) 天喜 (イ) 寛徳 (ウ) 延久

問10 この史料の内容を述べた文として誤っているものはどれか。

- (ア) 諸国七道には宣旨・官符もなく公領を奪い取った荘園が数多く存在した。
(イ) 宇治殿は自分の権勢を頼って荘園を寄進してきた者が多いと返答している。
(ウ) 天皇は宇治殿の荘園についても例外とせず、厳しく証憑文書を提出させた。

(C) (文治元年十一月)廿八日^(二十)丁未、陰晴定まらず。伝へ聞く、頼朝の代官北条丸^(⑥)、今夜経房に謁すべしと云々。定めて重事等を示すか。又聞く、件の北条丸以下の郎従等、相分ちて五畿・山陰・山陽・南海・西海の諸国を賜はり、庄公を論ぜず、兵糧^{ひやうりやう}積^あ五升^た、を宛て催すべし。普に兵糧の催のみに非ず、惣じて以て田地を知行すべしと云々。凡そ言語の及ぶ所に非ず。

問11 この史料の出典は何か。

- (ア) 『玉葉』 (イ) 『吾妻鏡』 (ウ) 『増鏡』

〔Ⅳ〕 次の写真①～⑤を見て、(A)～(E)各文の(1)～(10)について、(ア)～(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。また、各文の下線部はどの時期に起こった出来事か、下記の年表の(あ)～(お)から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 写真①は、江戸新吉原の遊女屋屋敷に抱えられた遊女を描いた浮世絵版画である。この頃、版画の製作技術や出版業の発達に伴い、多くの多色刷浮世絵版画が製作された。写真①の作者である(1) (ア) 司馬江漢 (イ) 喜多川歌麿 (ウ) 池大雅}は多くの美人画を製作している。

文学では、身近な政治や社会の出来事を題材とした作品が生み出され、挿絵で読者をひきつける草双紙や江戸の遊里を描いた洒落本、風刺のきいた絵入り小説の黄表紙が民衆に受け入れられた。『金々先生栄花夢』は黄表紙作家(2) (ア) 恋川春町 (イ) 式亭三馬 (ウ) 曲亭馬琴}の代表的な作品である。

この頃は、欧米列強が日本へ接近しはじめる時期であり、幕府は対外政策の見直しを迫られることとなった。幕府は海岸防備の強化をはかるとともに、出版統制を出して政治批判や風俗を厳しく取り締まった。林子平は、『海国兵談』を出版して海防の緊急性を説いたが、このことが幕政批判にあたるとして処罰された。また、洒落本や黄表紙作家だけでなく、版元である葛屋重三郎らも、風俗を乱すとして出版の禁止や家財半減などの処分を受けている。

(B) 南北朝動乱の頃、対馬・壹岐・肥前松浦地方の住民を中心とする海賊集団が、朝鮮半島や中国大陸沿岸を襲い、倭寇と呼ばれて恐れられていた。これを前期倭寇という。

中国では朱元璋が元の支配を排して明を建国し、近隣諸国に中国を中心とする伝統的な通交を求めた。モンゴル襲来の後、日本と中国の間には正式な外交関係はなかったが、明の呼びかけを知った足利義満は、明に使者を派遣して国交を開いた。国交は明の皇帝に朝貢する形であったが、滞在費、運搬費はすべて明側の負担であり、日本側には大きな利益があった。

その後、幕府の衰退に伴い、堺商人と結んだ細川氏や博多商人と結んだ大内

問12 下線部⑥「北条丸」とは誰のことか。

- (ア) 北条政子 (イ) 北条時政 (ウ) 北条義時

問13 下線部⑦の「南海」道に属する国名はどれか。

- (ア) 紀伊国 (イ) 伊豆国 (ウ) 日向国

問14 この史料が出されたのは、次のうちのどのような時期か。

- (ア) 壇ノ浦の戦いに敗れて平家が滅亡した時期
(イ) 源行家・義経が源頼朝に反旗を翻した時期
(ウ) 平泉を攻撃して奥州藤原氏を滅ぼした時期

問15 源頼朝側からの申し出に対して、この史料の著者が示した反応を述べたものとして、最も適当なものはどれか。

- (ア) 予想外のことを考え出したものと感心している。
(イ) とんでもないことを言い出したものと憤っている。
(ウ) 賛成も反対もできないと態度を保留している。

氏が貿易の実権を握るようになる。大内氏と細川氏は激しく争ったが、(3) (ア) 徐州 (イ) 寧波 (ウ) 福州}での戦いに勝った大内氏が貿易を独占した。しかし、大内氏が滅亡すると、倭寇の活動が再び活発化する。これを後期倭寇といい、写真②はその様子を描いた作品といわれる。後期倭寇の多くは武装した中国人を中心とする密貿易商人であったが、この図巻では左の明軍に対し、右の倭寇は日本人らしい表現で描かれている。後期倭寇の活動は、その後、(4) (ア) 大友義鎮 (イ) 織田信長 (ウ) 豊臣秀吉}が海賊取締令を出すまで続いた。

(C) 写真③は、源義家軍が金沢柵で雁の列の乱れを見て、敵の伏兵が潜んでいることを察知し、それを攻める様子を描いた絵巻の一部である。この合戦では、陸奥・出羽両国で大きな勢力を持つようになった清原氏一族の内紛に、陸奥守であった源義家が介入し、藤原(清原)清衡方を助けてこれを制圧した。金沢柵があった場所は、現在の(5) (ア) 秋田県 (イ) 岩手県 (ウ) 宮城県}にあたる。この合戦の結果、源義家の名声が高まり、武家の棟梁となっていく。奥羽では、藤原清衡が平泉を根拠地として、基衡・秀衡と3代にわたる奥州藤原氏の基礎を築いた。

京都においては、力をつけた武士を登用して親政を行っていた白河天皇が、幼少の堀河天皇に譲位し、上皇として天皇を見守りながら政治の実権を握る院政をはじめた。白河上皇は、北面の武士を組織するなどして院の権限を強化した。(6) (ア) 平忠盛 (イ) 平維盛 (ウ) 平正盛}は、伊賀の所領を六条院に寄進して院に近づき、北面の武士となった。その後、出雲で起こった源義家の子である義親の乱の平定などで武名をあげ、平氏が中央政界に進出する地歩を築いた。

(D) 明が中国人商人の日本への渡航を認めなかったことから、マカオに進出していたポルトガル人が中国・日本間の貿易に乗り出した。後に来航するようになるスペイン人も含め、当時の日本人は彼らを南蛮人と呼んだことから、彼らとの貿易を南蛮貿易という。

南蛮貿易により、日本にはヨーロッパの新しい技術や文化、価値観がもたらされるようになる。中国人密貿易商人の船で種子島に来航したポルトガル人が鉄砲を伝え、その使用法や製造技術は堺や国友など各地に広がり、鉄砲は戦国大名の間で急速に普及した。「長祿合戦図屏風」には、織田・徳川連合軍が大量の鉄砲を用いて武田軍を攻撃する様子が描かれている。鉄砲の普及により、軍隊編成や戦術、城の構造などにも変化が見られた。

写真④は、来航した南蛮船と様々な貿易品を携えて上陸した南蛮人たち、彼らを出迎える宣教師や修道士、民衆を描いた「南蛮屏風」の一部分である。黒のマントと帽子を身につけるのは、(7) (ア) ドミニコ会 (イ) フランシスコ会 (ウ) イエズス会}の宣教師たちであるが、日本に最初にキリスト教を布教したフランシスコ=ザビエルは、そのグループの創設者の一人である。

この時代には、「南蛮屏風」のほかにも、都市の繁栄や様々な生業、祭礼や参詣する群集などを描いた数多くの屏風絵が製作された。織田信長が上杉謙信に贈ったと伝えられる米沢市上杉博物館所蔵の「洛中洛外図屏風」は、(8) (ア) 狩野永徳 (イ) 狩野内膳 (ウ) 狩野探幽}によるものである。本図には、社寺や貴族の邸宅、商家の街並みや風俗が鮮やかに描かれており、国宝に指定されている。

(E) 実証主義的な学問が広く発達するなかで、西洋の学術や知識を取り入れようとする動きも活発になった。天文学者の西川如見は、長崎での見聞をもとに、朝鮮・中国・台湾・インド・西洋などの海外事情や通商関係について著述した「華夷通商考」を出した。また、新井白石は、屋久島に潜入し捕えられたイタリア人宣教師ヨハン=シドッチを尋問して「西洋紀聞」を著している。

その後、徳川吉宗によって漢訳洋書の輸入制限が緩和されると、洋学が本格的に取り入れられるようになった。特に、医学の分野では、前野良沢・杉田玄

白らが西洋医学の解剖書を訳述した『解体新書』を刊行したのをきっかけとして、蘭学が目覚ましく発展した。写真⑤は『解体新書』の扉絵である。この扉絵や同書の解剖図は、秋田蘭画の創始者としても知られる(9) (ア) 渡辺華山 (イ) 小田野直武 (ウ) 佐竹曙山}が写し描いたものである。また、藩政改革に伴って藩校が各地で作られるとともに、民間の教育機関として寺子屋や郷学、私塾も開かれるようになった。広瀬淡窓が豊後日田で開いた(10) (ア) 咸宜園 (イ) 古義堂 (ウ) 懐徳堂}には西日本各地から数千人の門人が集まったといわれている。

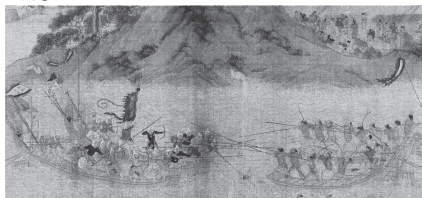
《年表》

1051 年	前九年合戦始まる (あ)
1232 年	御成敗式目制定 (い)
1335 年	中先代の乱 (う)
1551 年	勘合貿易断絶 (え)
1721 年	目安箱設置 (お)
1825 年	異国船打払令発令

写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



(以上)

2026年度入学試験問題

日 本 史

注 意 事 項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙はすべて黒鉛筆(HB)〈シャープペンシルは、HB 0.5 mm 以上の芯であれば使用可〉で記入することになっています。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- III 解答用紙右端の出席票に印刷されている受験番号を確認してください。間違いがなければ氏名欄に署名し、切取線から切り離してください。
- IV 試験時間は 60 分です。
- V 問題は 11 ページで大問 4 問です。

マーク記入上の注意

1. 解答欄にマークするときは、HB の黒鉛筆で次の正しい例のように、濃く正確にぬりつぶしてください。

2. マークのしかた

(ア) 正しい例

a 解答が1つの場合、例えばイと解答するときは

(1)

○	●	○	○	○
---	---	---	---	---

 のように、マークしてください。

b 解答が2つの場合、例えばイとウと解答するときは

(1)

○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

 または

○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

 のように各1つずつマークしてください。

(イ) 悪い例

(1)

○	○	○	○	○
---	---	---	---	---

 ○印でかこむ。

(2)

○	○	○	○	○
---	---	---	---	---

 全部をぬりつぶしていない。

(3)

○	○	○	○	○
---	---	---	---	---

 レ印をつける。

(4)

○	○	○	○	○
---	---	---	---	---

 1印をつける。

(5)

○	○	○	○	○
---	---	---	---	---

 1欄に2つ以上マークする。

このような記入をしてはいけません。

3. 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。

(1)

○	○	○	○	○
---	---	---	---	---

 のように×印をしても消したことはありません。

4. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、また汚したりしないでください。

〔 I 〕 次の(A)・(B)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 9世紀の終わり頃に登場した武士は、古代から中世へと時代が移り変わる中で新たな政治勢力として台頭してきた。平治の乱で伊豆に流されていた源頼朝のもとには東国の武士たちが結集し、頼朝は1180年に(1)を設置して彼らを統率するようになる。その後も着々と政権基盤を構築し、後白河法皇が亡くなると(2)に任命された。頼朝の死後、幕府は有力御家人による合議で運営されたが、1203年に(3)が反乱計画に失敗して謀殺されるなど、主導権をめぐる争いがたびたび起こり、1213年に(4)が権力を掌握した。こうした権力争いの中で、頼朝の跡を継いだ頼家・実朝も悲劇的な最期を遂げることであり、実朝の後継には、京都から迎えられた(5)が就任した。

(B) 鎌倉幕府が滅亡したのち、(6)の新政と呼ばれる天皇親政が行われたが、足利尊氏によって室町幕府がひらかれて、ふたたび武家政権が誕生した。しかし、足利氏内部の抗争に、幕府の主導権争いが複雑に絡む(7)が起こった。長期間におよぶ動乱の影響は各地に波及した。幕府は、足利一門を諸国に配置して支配力を強化しようとするが、1352年には美濃など3か国に(8)を發布し、各地の守護らの権限を認めざるを得なかった。3代将軍義満は、1391年の(9)などで有力な守護を減らして幕府の権力を強化していった。一方、1392年には、南朝の天皇から北朝の(10)天皇に譲位する形式で南北朝の動乱が終結し、国内の政治的安定がもたらされるようになった。

- 〔語群〕
- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| (ア) 守護請 | (イ) 九条道家 | (ウ) 太政大臣 |
| (エ) 問注所 | (オ) 中先代の乱 | (カ) 天曆 |
| (キ) 和田義盛 | (ク) 北条義時 | (ケ) 永享の乱 |
| (コ) 右近衛大将 | (サ) 半濟令 | (シ) 梶原景時 |
| (ス) 政所 | (セ) 九条頼経 | (ソ) 正中の変 |
| (タ) 後小松 | (チ) 北条時政 | (ツ) 明德の乱 |
| (テ) 北条泰時 | (ト) 親応の擾乱 | (ナ) 征夷大將軍 |
| (ニ) 徳政令 | (ヌ) 侍所 | (ネ) 後村上 |
| (ノ) 建武 | (ハ) 宗尊親王 | (ヒ) 嘉吉の変(乱) |
| (フ) 比企能員 | (ヘ) 元弘 | (ホ) 光明 |

〔Ⅱ〕 次の(A)～(G)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 1587 年、豊臣秀吉は本拠を大坂から旧平安京の大内裏跡に築いた居城である(1)に移した。翌年には後陽成天皇の行幸を迎え、諸大名をあつめて政権への忠誠を誓わせている。しかし、秀吉は1595 年7 月、甥の(2)を高野山へ追放して自害させると、ただちに秀吉自身によってこの居城は破却された。

(B) 織田信長の弟、織田有楽斎は茶道に専念する生涯を送った茶人で、有楽流の祖とされ如庵と号した。有楽斎は、鎌倉時代に榮西が開いた(3)内の正伝院に茶室如庵を営んだ。この茶室如庵は、1908 年に東京の三井家屋敷へ、さらに1938 年には大磯の三井家別邸へ移築された後、1972 年に愛知県犬山市に移築されて現在に至る。

(C) 寛永文化を代表する建築の一つに、数寄屋造と庭園をたくみに調和させた(4)がある。後水尾上皇が営んだ山荘で、上・中・下の三つの御茶屋からなり、比叡山を借景とした雄大な庭園が広がる。

(D) 元禄文化の特徴を庭園の分野からみると、将軍が大名屋敷を訪れる御成の回数が増えたことなどを背景に、屋敷内に趣向を凝らした廻遊式庭園が設けられた点が挙げられる。5 代将軍徳川綱吉の側用人であった柳沢吉保は、綱吉から与えられた下屋敷に、自ら設計した庭園をつくり、(5)と名付けた。現在も都心に豊かな緑を提供している。

(E) 寛政の改革で戯作者の(6)らとともに処罰された出版業者の葛屋重三郎は、黄表紙や狂歌本、錦絵などを多数刊行した。遊女屋の集まる遊郭があった江戸の(7)に本屋耕書堂を開業したことで知られる。当時の遊郭の建物には現存しないが、京都の島原では、旧揚屋の角屋のほか、地区の入り口に開く大門や柳などが遺る。

〔Ⅲ〕 次の(A)～(C)の各史料に関する問1～問15について、(ア)～(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

(A) 1 凡そ調の絹・^{あしぎぬ} 緇・糸・綿・布は、並びに郷土の所出に^{したが} 随へよ。正丁一人に、絹・^{あしぎぬ} 緇八尺五寸、(中略) 美濃の^{あしぎぬ} 緇は六尺五寸、(中略) 若し^① 雑物輪^{いん} ば、鉄十斤、鉄三口、塩三斗、^{あつち} 鰯十八斤、^{あつち} 堅魚^{三十三} 卅五斤、^い 烏賊^い 卅斤、(中略) 次丁二人、中男四人は、各一正丁に同じ。

2 凡そ調は、皆近きに随ひて合せ成せ。絹・^{あしぎぬ} 緇・布の^{ふた} 両^{はし} 頭、及び糸・綿の^{つみ} 囊^ふ には、^{つみ} 具に^{つみ} 国・郡・里、^{つみ} 戸主の姓名、年月日を注して、^あ 各国の印を以て^あ 印^あ せ。

4 凡そ正丁の歳役は(③)。若し^も 庸^と 取るべくは、布二丈六尺。(中略) 次丁二人は一正丁に同じ。中男、及び京・畿内は、庸取る例に在らず。(中略)

37 凡そ令条の外の雑徭は、人毎に均しく使へ。惣べて六十日に過すこと得じ。

(『令義解』賦役令)

問1 下線部①の「正丁」とは何歳から何歳までの男性を指すか。

(ア) 21 歳～40 歳 (イ) 21 歳～50 歳 (ウ) 21 歳～60 歳

問2 調の実例を示す、正倉院に伝えられた調布の墨書銘や発掘された木簡の内容からは、下線部②のような規定がほぼ守られていたことがわかる。納税者は、調を都まで運ぶ運脚に選ばれることもあり、大きな負担となった。『延喜式』には、諸国から京への運脚日数(上り)の規定がある。例えば能登国では18 日、相模国では25 日となっている。50 日の規定となっているのは、次のどこか。

(ア) 出雲国 (イ) 土佐国 (ウ) 陸奥国

問3 (③)に入る語句はどれか。

(ア) 十日 (イ) 二十日 (ウ) 三十日

(F) 工部大学校第一期卒業生で、宮内省に入省し宮廷建築家として活躍した(8)の代表作の一つである旧東宮御所(迎賓館赤坂離宮)は、東宮のちの(9)天皇の御所として、10 年の歳月と510 万余円の工費を投じて建設されたネオ＝バロック様式の建物である。1909 年には竣工し、その後1974 年に改修され迎賓館となった。改修を指導したのは建築家の村野藤吾である。

(G) 村野藤吾は、1945 年8 月(10)、広島に投下された原子爆弾によって焼失した教会堂を、1954 年に世界平和記念聖堂として再建するなど、戦後日本に多くの名作を遺している。関西大学千里山キャンパスにも、村野が設計を手がけた建物を見ることができる。

〔語群〕

(ア) 新吉原	(イ) 豊臣秀頼	(ウ) 鳥羽離宮
(エ) コンドル	(オ) 桂離宮	(カ) 15 日
(キ) 建仁寺	(ク) 聚楽第	(ケ) 為永春水
(コ) 豊臣秀次	(サ) 6 日	(シ) 辰野金吾
(ス) 兼六園	(セ) 相国寺	(ソ) 明治
(タ) 二条城	(チ) 山東京伝	(ツ) 豊臣秀長
(テ) 浅草	(ト) 片山東熊	(ナ) 兩國
(ニ) 大正	(ヌ) 修学院離宮	(ネ) 南禅寺
(ノ) 9 日	(ハ) 柳亭種彦	(ヒ) 伏見城
(フ) 後楽園	(ヘ) 昭和	(ホ) 六義園

問4 この史料は、律令制下での税制に関するものであるが、当時の税制で正しいものはどれか。

(ア) 租・庸・調のうち、租は田地からの収穫の約3 %にあたる税である。地方の国衙に納められたほか、一部は京に貢進された。

(イ) 庸は、九州での年間40 日の兵役の代わりに麻布などを納めるもので、諸国から京へ貢進された。

(ウ) 戸籍や計帳は徴税の基本台帳とされた。戸籍は6 年ごとに作成され、計帳は3 年ごとに作成された。

問5 この史料の出典は養老令の官撰注釈書の『令義解』である。これを編集した人物は誰か。

(ア) 菅原道真 (イ) 惟宗直本 (ウ) 清原夏野

(B) 和銅元年春正月乙巳、(⑤)国秩父郡、和銅を献ず。詔して曰く、「(中略) ④ 東方(⑤)国尔自然作成和銅出在止奏而献焉。(中略) 故改慶雲五年而和銅元年為而御世年号止定賜。(中略)」と。(中略) 五月壬寅、始て銀錢を行ふ。(中略) 八月己巳、始て銅錢を行ふ。(『統日本紀』)

問6 下線部④の「和銅元年」とは、西暦何年のことか。

(ア) 708 年 (イ) 711 年 (ウ) 718 年

問7 (⑤)には、朝廷に銅を献上した国名が入る。それはどこか。

(ア) 陸奥 (イ) 武蔵 (ウ) 常陸

問8 この史料からは、律令政府が本格的な銭貨である和同開珎の鑄造・発行を始めたことなどがわかる。この和同開珎は皇朝十二銭の最初であるが、その最後となった銭貨は何か。

(ア) 万年通宝 (イ) 乾元大宝 (ウ) 延喜通宝

問9 (⑤)とは別に、和同開珎の原料銅が出たのが長門国であった。のちに、長門国には鑄銭司が置かれ、皇朝十二銭が鑄造された。行政区分として、この長門国が属した七道は次のどれか。

- (ア) 山陽道 (イ) 山陰道 (ウ) 西海道

問10 この当時の貨幣の鑄造および流通について、正しいものはどれか。

- (ア) 和同開珎が鑄造・発行されたのち、政府はその流通のために蓄銭叙位令を出したが、京や畿内においても流通せず、その理由として稲や麻布などが貨幣の役割を果たしていた。
(イ) 和銅元年に鑄造が始まった和同開珎には銅銭・銀銭の2種があり、銀銭が先に鑄造された。
(ウ) 藤原宮跡の発掘調査を通じて、多数の富本銭や鋳型などが出土したことから、和同開珎が最古の鑄造貨幣ではなくなった。

(C) 臣、去にし寛平五年に備中介に任ず。かの国の下道郡に、邇磨郷あり。ここにかの国の風土記を見るに、皇極天皇の六年に、大唐の將軍蘇定方、新羅の軍を率ゐ百済を伐つ。百済使を遣はして救はむことを乞ふ。天皇筑紫に行幸したまひて、將に救の兵を出さむとす。(中略)路に下道郡に宿したまふ。一郷を見るに戸邑甚だ盛なり。天皇詔を下し、試みにこの郷の軍士を徴したまふ。即ち勝兵二万人を得たり。天皇大に悦びて、この邑を名けて二万郷と曰ふ。後に改めて邇磨郷と曰ふ。

(中略)天平神護年中に、右大臣吉備朝臣、大臣といふをもて本郡の大領を兼ねたり。試みにこの郷の戸口を計へしに、纔に課丁千九百余人ありき。貞観の初めに、故民部卿藤原保則朝臣、かの国の介たりし時に、(中略)大帳を計ふるの次に、その課丁を閲せしに、七十余人ありしのみ。清行任に到りて、またこの郷の戸口を閲せしに、老丁二人・正丁四人・中男三人ありしのみ。去にし延喜十一年に、かの国の介藤原公利、任満ちて都に帰りたりき。清行問ふ、「邇磨郷の戸口当今幾何ぞ」と。公利答へて云く、「一人もあることなし」と。謹みて年紀を計ふるに、皇極天皇六年庚申より、延喜十一年辛未に至るまで、

〔Ⅳ〕次の(A)・(B)各文の(1)～(10)について、最も適当な語句を下記の語群の中から選び、その記号をマークしなさい。また、各文の下線部①～⑤はどの時期に起こった出来事か、下記の年表の(a)～(き)から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 唐は約 290 年にわたって中国に君臨し、周辺諸国と緊密な関係を築いた。その唐が滅亡すると、中国は五代十国の諸国が興亡する時代に入った。江南の杭州に都を置いた(1)国では仏教文化が栄え、国王は戦乱などで失われた經典類を求めて、新羅や日本へ商人や僧侶を派遣した。こうした江南との交流のなかで、新たな文化が伝えられた。その後、宋が中国を統一すると、宋の仏教界と交流する僧侶もあらわれた。比叡山の横川に住んで修行と著述に専念した(2)は、念仏往生の教えを説いた自著を宋の商人に託して、中国の天台山国清寺に送った。また、寂照は天台宗の教義に関する質問状を携えて入宋し、宋の高僧から答えを得たのちも帰国せず、杭州で没した。

唐の滅亡後、中国東北部では(3)が勢力を拡大し、渤海などの周辺諸国を滅ぼしたのち、国号を遼と定めた。遼に服属していた女真の一派は朝鮮半島沿岸に出没するようになっていたが、さらに**高麗・対馬・九州北部を襲撃する事件を起こし**、九州の武士によって撃退された。その後、女真は強大化し、12世紀初頭に国号を金と定めた。金は遼を滅ぼしたのち、宋を圧迫したため、宋は南方へ移って南宋となった。日本は南宋との間にさかんに貿易を行い、平清盛は大輪泊を改修して、瀬戸内海航路の開発と保全をはかった。この前後に**重源は南宋に渡って大陸の仏教・文化を学んでいる**。

その後、モンゴルが金を滅ぼし、大都を都として、国号を元とした。元は日本の隣国である(4)を服属させたのち、2度にわたって日本に侵攻してきた。この2度の元寇における御家人の奮戦を描いたものが「蒙古襲来絵巻」であり、これは肥後の御家人(5)が描かせたものである。

纔に二百五十二年、衰弊の速かなること、またすでにかくのごとし。一郷をもてこれを推すに、天下の虚耗、**掌**を指して知るべし。

(『三善清行意見封事十二箇条』)

問11 この史料は、天皇の求めに応じて、三善清行が提出した意見であるが、この時の天皇は誰か。

- (ア) 醍醐天皇 (イ) 村上天皇 (ウ) 宇多天皇

問12 下線部⑥の「備中介」の「介」は、四等官制に基づく等級であるが、その説明として正しいものはどれか。

- (ア) 国の長官 (イ) 国の次官 (ウ) 国の判官

問13 下線部⑦の「風土記」について、備中のものは現存していないが、この史料での引用によって、その一部を知ることができる。次のうち、完本で残るのは、どこの国の『風土記』か。

- (ア) 播磨国 (イ) 出雲国 (ウ) 常陸国

問14 下線部⑧の「吉備朝臣」は吉備真備を指す。彼は2度唐に派遣されたが、最初に帰国した後に加わった政権の中枢にあった人物は誰か。

- (ア) 藤原仲麻呂 (イ) 長屋王 (ウ) 橘諸兄

問15 この史料の内容として、最も正しいものはどれか。

- (ア) 清行は、皇極天皇六年から延喜十一年に至るまでの備中国下道郡の歴史や地形について述べている。
(イ) 清行は、備中介に任じられたが、ある郷の課丁の数からみても地方の衰退よりは明らかであり、延喜十一年にはその郷の課丁が一人もいなくなったと聞いた。
(ウ) 清行は、備中介を拝命したが、前任者から聞いた地方政治の混乱ぶりから、実際には赴任しなかった。

(B) 中国では魏・呉・蜀の三国が並び立ったあと、晋が国内を統一したが、4世紀初めに匈奴などの侵入を受けて南へ移り(東晋)、中国は南北朝の分裂時代となった。313年には朝鮮半島で中国の支配下にあった(6)が滅亡した。中国本土や朝鮮半島における動乱を避けるため、多数の人々が南方など各地へ逃れたことと思われる。

倭国は4世紀末に海を渡って高句麗と交戦していたが、5世紀初頭には撤退を余儀なくされた。倭国はこの時期に百済や加耶からさまざまな技術を学び、また多数の渡来人が日本列島に流入してきた。渡来人の中には戦乱を避けた中国系の住民も少なくなかったであろう。(7)を祖先にもつ西文氏などはそうした中国系の渡来人であった可能性がある。

推古天皇は小野妹子らを遣隋使として派遣し、煬帝に国書を差し出した。煬帝はこれを無礼としたが、(8)を使者として倭国に派遣した。隋使は推古天皇の王宮である(9)に迎えられて外交儀礼が行われた。隋使の帰国に際して、倭国から高向玄理らの留学生や学問僧が送られ、中国で新知識や仏教を学んだあと帰国して、大化改新の政治改革を準備する役割を果たした。

隋の滅亡後、犬上御田鍬らが最初の遣唐使として派遣され、平安時代に至るまでに20回ほどの遣唐使が任命された。使節として海を渡った人びととしては、高向玄理・粟田真人・藤原清河・藤原葛野麻呂らが有名であり、留学生・学問僧に阿倍仲麻呂・玄昉・橘逸勢・最澄・空海らがいる。大宝律令の編纂にも参画した粟田真人は日本国号への改定を通告し、則天武后がこれを承認した。最澄の弟子(10)は中国各地で天台・密教・念仏を学び、帰国後、比叡山に常行三昧堂を建立した。

〔語群〕

- | | | |
|----------|----------|----------|
| (ア) 吐蕃 | (イ) 空也 | (ウ) 阿知使主 |
| (エ) 真番郡 | (オ) 呉越 | (カ) 岡本宮 |
| (キ) 安達泰盛 | (ク) 円珍 | (ケ) 契丹 |
| (コ) 王仁 | (サ) 高麗 | (シ) 小墾田宮 |
| (ス) 林邑 | (セ) 裴世清 | (ソ) 慶滋保胤 |
| (タ) 徳一 | (チ) 琉球 | (ツ) 菊池武時 |
| (テ) 豊浦宮 | (ト) 新羅 | (ナ) 円仁 |
| (ニ) 突厥 | (ヌ) 楽浪郡 | (ネ) 余豊璋 |
| (ノ) 源信 | (ハ) 弓月君 | (ヒ) 後唐 |
| (フ) 高表仁 | (ヘ) 竹崎季長 | (ホ) 臨屯郡 |

《年表》

478 年	倭王武が宋に遣使する (あ)
588 年	飛鳥寺を創建する (い)
694 年	藤原京に遷都する (う)
784 年	長岡京に遷都する (え)
901 年	菅原道真を左遷する (お)
1016 年	藤原道長、摂政となる (か)
1156 年	保元の乱が起こる (き)
1253 年	建長寺を創建する

(以上)

2026年度入学試験問題

日本史

注意事項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙はすべて黒鉛筆(HB)〈シャープペンシルは、HB 0.5 mm 以上の芯であれば使用可〉で記入することになっています。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- III 解答用紙右端の出席票に印刷されている受験番号を確認してください。間違いがなければ氏名欄に署名し、切取線から切り離してください。
- IV 試験時間は60分です。
- V 問題は12ページで大問4問です。

マーク記入上の注意

1. 解答欄にマークするときは、HBの黒鉛筆で次の正しい例のように、濃く正確にぬりつぶしてください。

2. マークのしかた

(ア) 正しい例

a 解答が1つの場合、例えばイと解答するときは

(1)

○	●	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---

 のように、マークしてください。

b 解答が2つの場合、例えばイとウと解答するときは

(1)

○	●	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 または

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

 のように各1つずつマークしてください。

(イ) 悪い例

(1)

○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---

 ○印でかこむ。

(2)

○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---

 全部をぬりつぶしていない。

(3)

○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---

 レ印をつける。

(4)

○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---

 1印をつける。

(5)

○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---

 1欄に2つ以上マークする。

このような記入をしてはいけません。

3. 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。

(1)

○	○	○	○	○	○
---	---	---	---	---	---

 のように×印をしても消したことはありません。

4. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、また汚したりしないでください。

〔I〕 次の(A)～(C)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 江戸時代の儒学の発達は、ほかの学問にも大きな影響を与えた。徳川光圀は、明暦3年(1657)に江戸駒込の水戸藩別邸に史局を開いて、『大日本史』の編纂を開始し、寛文12年(1672)に史局を江戸小石川の本邸に移転させて(1)と命名した。また、儒学の内部でも、孔子・孟子の古典に直接立ち返ろうとする古学派が現れた。そのうちの一人、(2)は『中朝事実』を著し、この書の中で中国や朝鮮よりも日本の方が優秀であると論じた。朱子学では、新井白石が『(3)』を著し、朝廷や武家政権の推移を段階的に時代区分して独自の歴史の見方を展開した。

さらに、江戸時代の中期以降には、『(4)』を著した賀茂真淵や彼に学んだ本居宣長など、日本固有の精神や文化を明らかにしようとする国学も発展した。

(B) 明治になり、啓蒙思想の普及を目的とする組織として森有礼・加藤弘之らによって(5)が結成された。彼らは機関誌の発行や演説会を開催し、儒教道徳や神道思想を否定し、功利主義・自由主義思想を紹介した。

国内に大学が発足すると、近代的学問の導入がはじかれた。歴史学では、伝統的な名分論的歴史学への批判が進められ、英米系の自由主義的な文明史論が著された。(6)の『日本開化小史』はその一例である。

明治中期には、『米欧回覧実記』を編纂した(7)らを先駆者とするドイツ系の実証史学が広がった。しかし科学的研究が伝統的な思想と衝突することもあり、そのため(7)は神道家や国学者から非難を浴びて明治25年(1892)に帝国大学の教授職を追われた。

(C) 昭和になり、戦時体制の強化によって学問にも統制がおよんだ。歴史教育では、『古事記』『日本書紀』の記述に基づいて、日本を「万邦無比の神国」とし、天皇統治の正当性と永遠性を主張する皇国史観が影響力をふるった。日中戦争開始直前、文部省は『(8)』を発行し、全国の学校・官庁に配布して、国民思想の教化をはかった。また、『日本書紀』に記される神武天皇即位から2600年にあたるとして、(9)には、祝賀・記念行事が全国各地で行われた。同年、『古事記』『日本書紀』の神話が客観的事実でないことを論証した(10)の『神代史の研究』など4冊が発売禁止となった。

〔語群〕

- | | | |
|-------------|------------------|-----------------|
| (ア) 明六社 | (イ) 昭和15年(1940) | (ウ) 弘道館 |
| (エ) 福沢諭吉 | (オ) 政談 | (カ) 万葉考 |
| (キ) 日新館 | (ク) 柳田国男 | (ケ) 本朝通鑑 |
| (コ) 臣民の道 | (サ) 中江兆民 | (シ) 昭和10年(1935) |
| (ス) 伊藤仁斎 | (セ) 立志社 | (ソ) 美濃部達吉 |
| (タ) 源氏物語湖月抄 | (チ) 彰考館 | (ツ) 国体の本義 |
| (テ) 久米邦武 | (ト) 国防の本義と其強化の提唱 | |
| (ナ) 熊沢蕃山 | (ニ) 山鹿素行 | (ヌ) 古事記伝 |
| (ネ) 政教社 | (ノ) 昭和5年(1930) | (ハ) 内藤湖南 |
| (ヒ) 滝川幸辰 | (フ) 津田左右吉 | (ヘ) 読史余論 |
| (ホ) 田口卯吉 | | |

〔Ⅱ〕 次の(A)～(D)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 19 世紀に新しい交通・通信手段として登場した蒸気船と電信は、世界経済の形成と欧米諸国のアジアなどへの進出を支える役割を果たした。九州の炭鉱で産出される石炭は東アジアを航行する蒸気船の燃料として需要があり、官営事業払い下げで三池炭鉱を払い受けた(1)は、鉱工業を基盤に含めつつ経営の多角化を進め、財閥に成長していった。電信は 1869 年に東京・横浜間で初めての電信線が架設され、公衆電報の取り扱いが始まった。電信線路が(2)まで延伸されると、(2)で上海からの海底電線に接続して国際的な電信ネットワークと結びついた。そして、1885 年には、通信および交通を統轄する中央官庁として(3)が創設された。

(B) 明治になって海外から導入された技術である鉄道は、創業時には開港場と大都市を結ぶ路線が官営で敷設され、その後も官営鉄道の建設が進められた。1881 年に設立された日本鉄道会社の経営が成功すると鉄道ブームが生じ、民営鉄道の設立が相次いだ。1889 年には民営鉄道の営業距離が官営鉄道を上回り、民営鉄道の営業距離はその後増加を続けた。日本鉄道会社は、1891 年に(4)間の鉄道を全通させた。しかし、1906 年に(5)内閣は経済的、軍事的観点から鉄道国有法を成立させ、主要な民営鉄道 17 社が買収されることになった。官営鉄道と多数の民営鉄道が併存する状況を解消し、鉄道の統一が図られたことで、国有鉄道が日本の鉄道の中核を担うこととなった。

(C) 明治初期の日本の沿岸航路には海外の海運会社が参入しており、国内企業との競争が行われていた。国内企業に沿岸航路を掌握させるため、政府は(6)が経営する三菱(郵便汽船三菱会社)に対して助成金の給付など保護を行い、海外企業を撤退させた。三菱は海運業を独占したが、三菱への反発から共同運輸会社が設立され、(6)の没後に両社は合併して日本郵船会社となった。日本郵船は海外航路の拡充に力を注ぎ、1893 年にボンベイ航路を、

日清戦争後にはヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアへの航路を開いた。ボンベイ航路は主に(7)の輸入のために利用された。

(D) 高度経済成長期には、個人所得の増加や都市化を背景に大衆消費社会が形成された。耐久消費財の大量生産・大量販売と割賦販売制度は、自家用自動車を普及させ、日本で最初の高速自動車国道として(8)が建設された。自動車の生産も増加して性能も高まり、自動車はアメリカなどへの重要な輸出品となった。モータリゼーションの進展は輸送機関別の国内旅客輸送分担率を変化させ、1970 年代には自動車の分担率が鉄道を上回り、日本国有鉄道の経営は悪化していった。1982 年に発足した(9)内閣は「戦後政治の総決算」をとなくて行財政改革を推進し、その一環として国有鉄道は分割民営化され JR 各社となった。民営化後の 1988 年には青函トンネルと(10)が開通し、北海道・本州・四国・九州が陸路で結ばれた。

〔語群〕

(ア) 中国自動車道	(イ) 古河	(ウ) 中曽根康弘
(エ) 三井	(オ) 綿糸	(カ) 大隈重信
(キ) 名神高速道路	(ク) 桂太郎	(ケ) 瀬戸大橋
(コ) 内務省	(サ) 岩崎弥之助	(シ) 運輸通信省
(ス) 西園寺公望	(セ) 神戸・下関	(ソ) 上野・青森
(タ) 長崎	(チ) 綿花	(ツ) 通信省
(テ) 関門橋	(ト) 川崎	(ナ) 鹿児島
(ニ) 新橋・神戸	(ヌ) 竹下登	(ネ) 羊毛
(ノ) 明石海峡大橋	(ハ) 東名高速道路	(ヒ) 岩崎久弥
(フ) 福岡	(ヘ) 岩崎弥太郎	(ホ) 鈴木善幸

〔Ⅲ〕 次の(A)～(E)の各史料に関する問 1～問 15 について、(ア)～(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

(A) (天平十五年五月)乙丑、詔して曰く、「聞くならく、壱田は(①)七年の格に依りて、限満つる後、例に依りて取授す。是に由りて農夫怠倦して、開ける地復た荒る。と。今より以後は、任に私財と為し、三世一身を論ずること無く、咸悉くに永年取る莫れ。其の親王の一品及び一位は五百町、二品及び二位は四百町、三品・四品及び三位は三百町、四位は二百町、五位は百町、六位已下八位已上は五十町、初位已下庶人に至るまでは十町、(中略)」と。

問 1 上の史料に記された法令が出されたときに、政権の中心だった人物は、次の誰か。

(ア) 道鏡 (イ) 長屋王 (ウ) 橘諸兄

問 2 この法令が出されたのと同じ年に起こった出来事は、次のどれか。

(ア) 鑑真の来日 (イ) 大仏造立の詔 (ウ) 国分寺建立の詔

問 3 上の史料の(①)に入る年号は、次のどれか。

(ア) 和銅 (イ) 神亀 (ウ) 養老

(B) 尾張国郡司百姓等解し申し、官裁を請ふの事
裁断せられむことを請ふ、当国の守藤原朝臣元命、三箇年の内に責め取る非法の官物、并せて濫行横法三十一箇条の□□
一、裁断せられむことを請ふ、例挙の外に三箇年の収納、暗に以て加□^(四)せる正税^(三)冊三万二千二百冊八束が息利の十二万九千三百七十四束四把一分の事(中略)
一、裁断せられむことを請ふ、三箇年の池溝并せて救急の料稲万二千余束を宛て行はざる事(中略)
仍て具さに三十一箇条の事状を勸し、謹みて解す。
(③)二年十一月八日 郡司百姓等

問 4 上の史料の下線部②の「解」についての説明のうち、正しいものを次の中から選びなさい。

(ア) 律令制で、下級の官司(被管)から上級の官司(所管)にあてて提出される公文書
(イ) 律令制で、ある官庁から上下関係のない他の官庁へ相互に授受する公文書
(ウ) 律令制で、上級の官司(所管)から下級の官司(被管)に対して命令を下す際に用いる公文書

問 5 この解文が提出された(③)に入る年号は、次のどれか。

(ア) 永延 (イ) 寛弘 (ウ) 天延

問 6 この解文が提出された当時、この国守のように任国に赴任して巨利を得る強欲な者がほかにもいた。信濃守藤原陳忠が、谷底に落ちて救出された際に平葺を採ることを忘れず、「受領ハ倒ル所ニ土ヲ掘メトコソ云へ」と言ったという話が記されている 12 世紀に成立した説話集は、次のどれか。

(ア) 『古今著聞集』 (イ) 『日本霊異記』 (ウ) 『今昔物語集』

- (C) (延久元年二月)廿三日、寛徳二年以後の新立莊園を停止すべし、縦ひ彼の年以往と雖も、立券分明ならず、国務に妨げある者は、同じく停止の由宣下す。(同年)閏二月十一日、始めて記録庄園券契所を置き、寄人等を定む。

問7 上の史料は、延久の莊園整理令の一部である。下線部④の「寛徳二年以後の新立莊園を停止すべし」というのは、寛徳二年の莊園整理令以後に設けられた新立莊園を廃止するということである。この寛徳の莊園整理令を発布したのは、次のどの天皇か。

- (ア) 後冷泉天皇 (イ) 後三条天皇 (ウ) 醍醐天皇

問8 上の史料の出典は、次のどの書物か。

- (ア) 『日本紀略』 (イ) 『百鍊抄』 (ウ) 『扶桑略記』

- (D) 鹿子木の事

⑤ 一、当寺の相承は、開発領主沙弥、寿妙、竊々相伝の次第なり。
一、寿妙の末流高方の時、権威を借らむがために、実政卿を以て領家と号し、年貢四百石を以て割き分ち、高方は庄家領、掌進退の預所職となる。
一、実政の末流順西微力の間、国衛の乱妨を防がず。この故に願西、領家の得分二百石を以て、高陽院内親王に寄進す。件の宮薨去の後、御菩提の爲め(中略)勝功德院を立てられ、かの二百石を寄せらる。其の後、美福門院の御計として御室に進付せらる。これ則ち本家の始めなり。(以下略)

問9 下線部⑤の「鹿子木」は、次のどの国にあった莊園か。

- (ア) 丹波国 (イ) 紀伊国 (ウ) 肥後国

問10 この莊園が寄進された下線部⑥の「高陽院内親王」は、次のどの天皇の皇女か。

- (ア) 鳥羽天皇 (イ) 白河天皇 (ウ) 後白河天皇

〔Ⅳ〕 次の(A)～(C)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。また、文中の下線部①～⑤はどの時期に起こった出来事か、下記の年表の(a)～(h)から選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 栃木県は、旧下野国を範囲とする県である。

奈良時代には、下野国の南部にある(1)が、僧侶へ戒律を授け、資格を与える戒壇の一つとして大規模な伽藍をそなえたことが明らかになっている。また、称徳天皇の寵愛を得て権勢をふるった道鏡は、天皇の死後にこの寺へ左遷されている。

鎌倉時代、下野国の南西部では足利氏が勢力をもったが、その邸宅に創建された鐙阿寺は、室町時代に將軍や鎌倉公方となった足利氏の氏寺として栄える。また、鐙阿寺の近隣にある足利学校は、永享年間(1429～41)に(2)が再興して学問の中心地となり、イエズス会の宣教師フランシスコ＝ザビエルにより「坂東の大学」と称された①。

② 会津の上杉景勝を攻めるために諸大名を率いて下野国の小山にいたった徳川家康は、石田三成らの動きを知ると、そこから引き返して東海道を西へ向かった。また、家康の霊をまつる東照社は駿河国から下野国の日光へ遷され、のちに朝廷から宮号を授けられて東照宮となった。さらに、19世紀の初めに『(3)』を著した尊王家の蒲生君平は、同国の宇都宮の出身である。

明治4年(1871)の廃藩置県では旧上野国の一部と旧下野国に栃木・宇都宮の2県が成立するが、同6年、栃木県が宇都宮県を統合し、同9年には旧上野国の3郡が群馬県へ移管されて現在の県域が定まった。

- (B) 和歌山県は、旧紀伊国の大部分を範囲とする県である。

和歌山市の中東部にある(4)は、紀ノ川南岸の丘陵地に広がる大規模な古墳群で、埋葬施設の形式や出土品からは大陸文化の影響がうかがわれる。造墓集団は文献史料にみられる紀氏一族と想定されている。

中世に入ると、貴族や大寺社の莊園が並び立った。例えば、建治元年(1275)に地頭の非法をカタカナ書きで訴えた史料で知られる(5)莊は、有田川の

問11 この史料は、次のどの寺院にかつて傳來していた文書か。

- (ア) 金剛峯寺 (イ) 東寺 (ウ) 仁和寺

- (E) [(⑦)十七年十二月十一日]一、今日山城国人集會す。上ハ六十歳、下ハ十五六歳と云々。同じく一國中の土民等群集す。今度兩陣の時宜を申し定めんが爲の故と云々。然るべきか、但し又下極上の至なり。兩陣の返事問答の様如何、未だ聞かず。

[(⑦)十八年二月十三日]一、今日山城国人、(⑨)に會合す。國中の掟法猶以てこれを定むべしと云々。凡そ神妙。但し興成せしめば天下のため然るべからざる事か。

問12 上の史料の(⑦)に共通して入る年号は、次のどれか。

- (ア) 応仁 (イ) 嘉吉 (ウ) 文明

問13 下線部⑧の「兩陣」は、守護大名の一族が二つに分かれて争っていることを示し、それへの対応を相談するために山城の国人たちが集会をしたことを記している。その守護大名の一族は、次の何氏か。

- (ア) 畠山氏 (イ) 赤松氏 (ウ) 斯波氏

問14 (⑨)に入る国人たちが会合した寺院は、次のどこか。

- (ア) 醍醐寺 (イ) 興福寺 (ウ) 平等院

問15 これらの史料の出典は、次のどの書物か。

- (ア) 『看聞日記』 (イ) 『大乘院寺社雜事記』 (ウ) 『薩戒記』

上流に位置する山間の莊園である。

関ヶ原の戦いの後には、浅野長政の子幸長が紀伊国の37万6000余石を与えられて和歌山に入った。しかし、改易された福島正則のあとを受けて幸長の弟長晟が安芸国広島へ移されると、徳川家康の10男(6)が55万5000石で和歌山に入り、明治維新まで徳川御三家の一角をなした。また、江戸時代には、湯浅の醤油や有田川流域のミカンといった特産品が、廻船により大坂や江戸へ運ばれた。

明治4年(1871)の廃藩置県では和歌山・田辺・新宮の3県が成立するが、同年11月、五条県(のちの奈良県)に編入されていた旧高野山領とともに和歌山県へ統合され、現在の県域が定まった。その一方で、旧紀伊国のうち熊野川以東・北山川以南の地域は、度会県(のちの三重県)に編入されている。

昭和20年(1945)の空襲で和歌山市などが大きな被害を受けたが、戦後は製鉄や化学、石油精製などの重化学工業が進出し、阪神工業地帯につらなる臨海工業地帯を形成した。

- (C) 熊本県は、旧肥後国を範囲とする県である。

県の北部には、大王の名を記した銀象嵌銘をもつ大刀が出土したことで知られる(7)古墳がある。

中世後期の肥後国では、地域ごとに小さな領主(国人)が並び立っていたが、これらの中から強力な大名へと成長する者は現れず、戦国時代には、薩摩の島津氏や豊後の大友氏など、近隣の大名が勢力を伸ばした。

豊臣秀吉の九州攻めにより、肥後国は球磨・天草の2郡を除いて佐々成政の領地となったが、太閤検地などの政策に反対する国人の一揆が発生し、その責任を問われて成政は改易された。一揆が鎮圧されると、成政の旧領の北部は加藤清正に、南部は小西行長にそれぞれ与えられ、天草も行長の支配下に入った。しかし、関ヶ原の戦いの後には、西軍に属した行長の領地が没収される一方、東軍に属した清正に肥後国の大半が与えられ、加藤氏による熊本藩51万5000石が成立する。他方、相良氏は球磨郡の2万2000余石を安堵されて人吉藩となり、行長の旧領のうち天草地域は肥前唐津藩の寺沢氏の領地となった。

加藤清正の子忠広が謀反の疑いなどで改易されると、細川氏が熊本藩 54 万石として入封した。また、寺沢氏は天草に過重な年貢を課し、キリシタンを弾圧したことから住民の反発を招き、肥前国の島原地域とともに大規模な一揆が⁽⁵⁾発生した。これにより天草は唐津藩から没収され、のちに幕領となる。

18 世紀の中頃、熊本藩主の細川重賢が創設した藩校の(8)は、人材育成に大きな成果をあげるが、幕末の卒業生には、大日本帝国憲法の起草・制定に尽力した井上毅らがいる。

明治 4 年(1871) 7 月の廃藩置県で熊本県と人吉県の二つが成立するが、同年 11 月、熊本県の南部 4 郡と人吉県、および長崎県に編入されていた旧幕領の天草郡が統合されて八代県となる一方、熊本県は北部 9 郡に限定された。翌 5 年、熊本県は白川県と改称し、同 6 年に白川県が八代県を合併、そして同 9 年には白川県が熊本県に再び改称する。なおこの間には、豊後国の旧熊本藩領が大分県へ、日向国の旧人吉藩領などが美々津県(のちの宮崎県)へそれぞれ移管されている。

新政府に不満を抱く熊本県の士族らは敬神党(神風連)を結成し、明治 9 年の廃刀令をきっかけとして(9)を首領に反乱を起こしたが、まもなく鎮圧される。しかし、翌 10 年の西南戦争では、西郷隆盛の軍が鹿児島から熊本県へ入ると同県の士族たちも西郷軍に加わり、政府軍と数カ月にわたって激闘を繰り広げた。

明治 41 年(1908)、野口遵の(10)が水俣に進出し、熊本県では化学工業が盛んになる。しかし戦後には、工場の排水に含まれるメチル水銀が深刻な公害病(水俣病)を引き起こした。水俣病は、公害に対する社会の関心を高め、政府の対応を促すこととなった。

〔語群〕

- | | | |
|--------------|-----------|----------|
| (ア) 日本産業会社 | (イ) 太田黒伴雄 | (ウ) 上杉憲実 |
| (エ) 日本外史 | (オ) 江田船山 | (カ) 足利政知 |
| (キ) 柿田 | (ク) 岩橋千塚 | (ケ) 山陵志 |
| (コ) 稲荷山 | (サ) 日本曹達 | (シ) 明倫館 |
| (ス) 日本窒素肥料会社 | (セ) 東大寺 | (ソ) 阿氏河 |
| (タ) 興談館 | (チ) 江藤新平 | (ツ) 頼宣 |
| (テ) 薬師寺 | (ト) 義直 | (ナ) 新沢千塚 |
| (ニ) 柳子新論 | (ヌ) 東郷 | (ネ) 観世音寺 |
| (ノ) 岩戸山 | (ハ) 時習館 | (ヒ) 頼房 |
| (フ) 足利持氏 | (ヘ) 前原一誠 | (ホ) 吉見百穴 |

《年表》

1547 年	「甲州法度之次第」が制定される (あ)
1567 年	奈良の大仏殿が炎上する (い)
1590 年	ヴァリニャーノが活字印刷機を伝える (う)
1609 年	姫路城の大手守が完成する (え)
1629 年	女歌舞伎が禁止される (お)
1641 年	岡山に花畠教場が設立される

(以上)

2026年度入学試験問題

日本史

注意事項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙はすべて黒鉛筆(HB)〈シャープペンシルは、HB 0.5 mm 以上の芯であれば使用可〉で記入することになっています。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- III 解答用紙右端の出席票に印刷されている受験番号を確認してください。間違いがなければ氏名欄に署名し、切取線から切り離してください。
- IV 試験時間は60分です。
- V 問題は11ページで大問4問です。

マーク記入上の注意

1. 解答欄にマークするときは、HBの黒鉛筆で次の正しい例のように、濃く正確にぬりつぶしてください。

2. マークのしかた

(ア) 正しい例

a 解答が1つの場合、例えばイと解答するときは

(1)

○	●	○	○	○
---	---	---	---	---

のように、マークしてください。

b 解答が2つの場合、例えばイとウと解答するときは

(1)

○	●	○	○	○
○	○	○	○	○

または

○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

のように各1つずつマークしてください。

(イ) 悪い例

(1)

○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

 ○印でかこむ。

(2)

○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

 全部をぬりつぶしていない。

(3)

○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

 レ印をつける。

(4)

○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

 リ印をつける。

(5)

○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

 1欄に2つ以上マークする。

このような記入をしてはいけません。

3. 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。

(1)

○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

のように×印をしても消したことはありません。

4. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、また汚したりしないでください。

〔I〕 次の(A)～(C)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 江戸時代には、治水や灌漑の技術が飛躍的に高まり、大規模な耕地開発が可能になった。幕府や大名は17世紀初め頃から治水・灌漑工事を各地で行って、河川の下流や海浜の浅瀬、湖沼などでの新田開発を積極的に進めた。17世紀末には、有力な都市商人が資金を投じて開発する町人請負新田もみられるようになる。

享保期にはいると、幕府は江戸日本橋に高札を立てるなどして、有力商人によるさらなる新田開発を奨励し、米の増産を目指した。この頃行われた新田開発のなかでも、越後国の(1)の開発は特に大規模なものであった。

江戸時代には、農業技術の改良も進み、深耕用の備中鍬や脱穀用の(2)などが広く普及した。また、新しい農業技術を教える農書も数多く作られ、広く読まれた。江戸時代後期から幕末にかけての農学者である(3)が著した『広益国産考』には、約60種類の作物の栽培法が記されている。

(B) 18世紀後半以降、江戸では関東の在郷町などで作られた大量の加工品が流通するようになり、いわゆる江戸地廻り経済圏が形成された。下総国(4)の醤油は、地廻りものの代表例である。この経済圏の形成によって豪農や地主は経営を拡大させたが、その一方で、多くの百姓が土地を失い離村し、耕作放棄地や荒廃地も増大した。離村した農民のなかには無宿人となる者も多く、博打が蔓延するなど治安の乱れを生じさせる要因となった。そのため、文化2年(1805)に幕府は(5)を設置し、犯罪者の取り締まりを行った。

文政期の畿内では、商品生産を担う村々が連合して、大坂の株仲間などによる流通独占に反対する合法的な訴願闘争を行った。なかには、支配関係や複数の郡・国の範囲を越えて村々が連合した大規模な国訴もみられるようになる。文政6年(1823)にはじまる綿や(6)の自由な販売などを求めて行われた国訴では、摂津・河内・和泉3カ国で最大1307カ村が関わった。

(C) 明治19年(1886)頃から、鉄道業や紡績業を中心に最初の企業勃興が起こり、日本でも産業革命が始まった。紡績業、綿織物業、製糸業などの繊維産業は、海外からの技術導入や技術革新によって、主要な輸出産業に成長した。これらの繊維産業を支えたのは、「女工」あるいは「工女」とよばれた女性労働者たちであった。明治33年の繊維産業にかかる工場労働者数は約24万人で、その(7)を女性が占めている。彼女らの多くは賃金の前借や寄宿舎制度のもとで工場に縛り付けられ、劣悪な労働環境のなかで長時間労働に従事した。

一方、重工業や鉱山・運輸産業では男性労働者が多数を占めた。鉱山や土木工事では、集めた労働者を現場に設けた粗末な合宿所に強制的に寝泊まりさせ、納屋頭が暴力的に管理した。鉱山労働者の過酷な状態については、明治21年に雑誌『日本人』が(8)の経営する高島炭鉱について報道したことで、社会問題化した。

明治36年に農商務省が刊行した『(9)』は、こうした工場労働者の実態に関する調査報告書であり、工場法立案の基礎資料となった。

日本で最初の労働者保護法である工場法は、明治44年、第2次桂太郎内閣によって制定される。制定時においては、12歳未満の就労禁止や、女性・年少者の深夜業の禁止、1日12時間労働制などが規定されていたが、適用範囲を原則として常時(10)人以上の職工を使用する工場に限るなど例外規定も多く、極めて不十分な内容であった。

〔語群〕

(ア) 麻	(イ) 関東郡代	(ウ) 三菱
(エ) 紫雲寺湯新田	(オ) 竜野	(カ) 38%
(キ) 三井	(ク) 千歯扱	(ケ) 女工哀史
(コ) 二宮尊徳	(セ) 58%	(コ) 鴻池新田
(ス) 15	(セ) 住友	(ク) 唐箕
(タ) 宮崎安貞	(チ) 野田	(ツ) 日本之下層社会
(テ) 踏車	(ト) 12	(チ) 大蔵永常
(ニ) 関東取締出役	(ヌ) 職工事情	(ネ) 業種
(ノ) 10	(ハ) 藍	(ヒ) 火付盗賊改
(フ) 飯沼新田	(ヘ) 88%	(ホ) 川越

〔Ⅱ〕 次の(A)～(C)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 6世紀に(1)の聖明王によって公式に伝えられた仏教は、奈良時代には、国家の保護を受けて発展した。(2)天皇は、諸国に国分寺・国分尼寺を建立するように命じたほか、『(3)』という經典に基づいて大仏を造立した。大仏の開眼供養が行われたのち、5度の渡航失敗を経て来日した鑑真は、平城京内に(4)を開いて僧侶の育成に努め、日本の仏教の発展に大きく貢献した。
- (B) 平安時代のはじめには、儒教を中心に学問を重視する風潮が高まり、文芸によって国家の繁栄を目指す思想が広まった。天皇の命令によって漢詩文集が撰定されるが、827年に完成した(5)はその一つである。有力な貴族たちは、大学別曹を設けて、大学に通う一族の子弟を支援した。空海は(6)を創設して、広く教育の門戸を開き、漢詩文作成についての手引書である『(7)』を著すなどの活動を行っている。
- (C) 東アジアの秩序が大きく変化し、これまで受容していた大陸文化をふまえて、日本の風土や生活様式にあわせた貴族社会を中心とした新たな文化が形成された。かな文字が発達し、人々の感情や感覚をいきいきと表現することが可能となって、和歌が盛んとなった。紀貫之らによって編集された『(8)』は最初の勅撰和歌集である。物語文学では、和歌を主体に120余りの短編で構成される『(9)』がある。また、この頃を代表する能書家に『権記』の著者(10)が知られる。

〔Ⅲ〕 次の(A)～(C)の各史料に関する問1～問15について、(ア)～(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 今般憲法発布式ヲ举行セラレ、大日本帝国憲法及之ニ付随スル諸法令ハ昨日ヲ以テ公布セラレタリ。(中略)欽定ノ憲法ハ、臣民ノ敢テ一辭ヲ容ルコトヲ得サルハ勿論、各般ノ行政ハ之ニ準拠シテ針路ヲ定メ、天皇陛下統治ノ大権ニ従属スヘキハ更ニ贅言ヲ要セサルナリ。然ルニ政治上ノ意見ハ人々其所説ヲ異ニシ、其説ノ合同スル者相投シテ一ノ團結ヲナシ、政党ナル者ノ社会ニ存立スルハ情勢ノ免レサル所ナリト雖、政府ハ常ニ一定ノ政策ヲ取り、超然政党ノ外ニ立チ、至正至中ノ道ニ居ラサル可ラス。各員宜ク意ヲ此ニ留メ、常ニ不偏不党ノ心ヲ以テ人民ニ臨ミ、其間ニ固執スル所ナク、以テ広く衆思ヲ集メテ国家邦隆ノ治ヲ助ケンコトヲ勉ムヘキナリ。

(〔牧野伸顯文書〕)

問1 この史料は、黒田清隆首相の超然主義演説と呼ばれるものである。下線部①「昨日」は1889年のいつか。

- (ア) 2月11日 (イ) 5月3日 (ウ) 11月29日

問2 下線部②「天皇陛下統治ノ大権」に関連して、天皇主権説を唱え、「民法出テ、忠孝亡ブ」と題した論文も著した憲法学者は誰か。

- (ア) 梅謙次郎 (イ) 美濃部達吉 (ウ) 穂積八束

問3 下線部③「政党」に関連して、1881年に国会期成同盟が中核となり、板垣退助を総理として結成された政党はどれか。

- (ア) 愛国公党 (イ) 自由党 (ウ) 憲政党

問4 下線部④「各員」は誰を指すか。

- (ア) 地方長官 (イ) 衆議院議員 (ウ) 東京帝国大学教授

〔語群〕

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| (ア) 大安寺 | (イ) 顕戒論 | (ウ) 和漢朗詠集 |
| (エ) 新羅 | (オ) 唐招提寺 | (カ) 懷風藻 |
| (キ) 伊勢物語 | (ク) 法華経 | (ケ) 藤原佐理 |
| (コ) 源氏物語 | (サ) 綜芸種智院 | (シ) 西大寺 |
| (ス) 称徳 | (セ) 凌雲集 | (ソ) 古今和歌集 |
| (タ) 三教指帰 | (チ) 百済 | (ツ) 経国集 |
| (テ) 学館院 | (ト) 拾遺和歌集 | (ナ) 桓武 |
| (ニ) 藤原行成 | (ヌ) 唐 | (ネ) 華嚴経 |
| (ノ) 奨学院 | (ハ) 聖武 | (ヒ) 竹取物語 |
| (フ) 金光明最勝王経 | (ヘ) 文鏡秘府論 | (ホ) 橘逸勢 |

問5 この内閣の外務大臣として条約改正交渉にあたり、アメリカ・ドイツ・ロシアとのあいだで改正条約を調印したが、大審院への外国人判事の任用を認めていたことがわかり、対外硬派の青年に襲われたのは誰か。

- (ア) 井上馨 (イ) 大隈重信 (ウ) 青木周蔵

(B) 第一条 支那国以外ノ締約国ハ左ノ通約定ス

(一) 支那ノ主権、独立並其ノ領土の及行政の保全ヲ尊重スルコト

(三) 支那ノ領土ヲ通シテ一切ノ国民ノ商業及工業ニ対スル機会均等主義ヲ有効ニ樹立維持スル為各々尽力スルコト

第三条 一切ノ国民ノ商業及工業ニ対シ、支那ニ於ケル門戸開放又ハ機会均等ノ主義ヲ一層有効ニ適用スルノ目的ヲ以テ、支那国以外ノ締約国ハ左ヲ要求セサルヘク又各自国民ノ左ヲ要求スルコトヲ支持セサルヘキコトヲ約定ス

(イ) 支那ノ何レカノ特定地域ニ於テ商業上又ハ経済上ノ発展ニ関シ、自己ノ利益ノ為、一般的優越權利ヲ設定スルニ至ルコトアルヘキ取極

(〔日本外交文書〕)

問6 この史料は、ワシントン会議で結ばれた九カ国条約である。その9カ国に含まれる国はどれか。

- (ア) ソ連 (イ) ドイツ (ウ) オランダ

問7 下線部⑤「支那国」に関連して、第一次世界大戦中、西原借款と呼ばれる経済借款を日本から受けた北方軍閥の指導者は誰か。

- (ア) 孫文 (イ) 袁世凱 (ウ) 段祺瑞

問8 下線部⑥「機会均等主義」に関連して、1899年に中国での門戸開放・機会均等を掲げたアメリカの国務長官は誰か。

- (ア) モンロー (イ) ジョン＝ヘイ (ウ) ハル

問9 1917年に結ばれたが、九カ国条約によって廃棄された協定はどれか。

- (ア) 桂・ハリマン協定 (イ) 高平・ルート協定
(ウ) 石井・ランシング協定

問10 ワシントン会議では太平洋の平和に関する四カ国条約と、主力艦保有量を制限する海軍軍備制限条約も結ばれた。このワシントン海軍軍備制限条約により、アメリカに対する日本の主力艦保有比率は何割とされたか。

- (ア) 5割 (イ) 6割 (ウ) 7割

- (C) 一、日本国とソヴィエト社会主義共和国連邦との間の戦争状態は、この宣言が効力を生ずる日に終了し、両国の間に平和及び友好善隣関係が回復される。
- 二、日本国とソヴィエト社会主義共和国連邦との間に外交及び領事関係が回復される。(中略)
- 四、ソヴィエト社会主義共和国連邦は、(⑧)への加入に関する日本国の申請を支持するものとする。
- 六、ソヴィエト社会主義共和国連邦は、日本国に対し一切の賠償請求権を放棄する。(中略)
- 九、日本国及びソヴィエト社会主義共和国連邦は、両国間に正常な外交関係が回復された後、平和条約の締結に関する交渉を継続することに同意する。ソヴィエト社会主義共和国連邦は、日本国の要望にこたえ、かつ日本国の利益を考慮して、歯舞群島及び(⑨)を日本国に引き渡すことに同意する。ただし、これらの諸島は、日本国とソヴィエト社会主義共和国連邦との間の平和条約が締結された後に現実に引き渡されるものとする。
- (『日本外交主要文書・年表』)

問11 この史料は、1956年10月にモスクワで調印された日ソ共同宣言である。このとき、全権としてソ連を訪問した内閣総理大臣は誰か。

- (ア) 吉田茂 (イ) 鳩山一郎 (ウ) 石橋湛山

問12 下線部⑦「戦争状態」に関連して、ソ連が日本に宣戦布告を行ったのは1945年のいつか。

- (ア) 4月5日 (イ) 5月9日 (ウ) 8月8日

問13 文中の(⑧)に入る語句はどれか。

- (ア) 国際労働機関 (イ) 国際連合 (ウ) 国際通貨基金

問14 文中の(⑨)に入る語句はどれか。

- (ア) 色丹島 (イ) 国後島 (ウ) 択捉島

問15 この頃、世界では東西対立を緩和する動きが生まれ、第三勢力の台頭も進んだ。日ソ共同宣言の前年に、アジア=アフリカ会議が開催された国はどれか。

- (ア) タイ (イ) インドネシア (ウ) フィリピン

〔Ⅳ〕次の(A)～(E)各文の(1)～(10)について、下記の語群の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。あわせて、各文の下線部「この地」の位置を、地図上のa～oから選び、その記号をマークしなさい。なお、地図の一部は省略している。

(A) 10世紀の東アジア世界は、変動期となった。唐は755年に勃発した安史の乱で衰退しはじめ、907年に滅亡した。926年には、契丹(遼)が(1)を滅ぼした。日本は、894年の遣唐使の派遣を中止して中国大陸の王朝との正式の国交はなくなったが、交易は続き960年に成立した宋との間では、商船の往来も盛んであった。宋に渡る僧もおり、東大寺の僧(2)は、入宋して三国伝来といわれる釈迦如来像を持ち帰った。この像は、嵯峨清涼寺に今も伝えられている。1019年には、沿海州の刀伊が対馬やこの地を襲って、日本社会に衝撃を与えた。

(B) 後醍醐天皇は、即位すると政治への意欲を示し親政を行った。鎌倉幕府に近づく持明院統への危機感が背景にあった。この頃、鎌倉では北条高時のもとで実権を握っていた内管領(3)に対して、御家人たちが不満を持ち対立が深まっていた。後醍醐天皇は倒幕の計画を進めるが、計画がもれ、配流された。配流地の居所については諸説あるが、『増鏡』等の記述からこの地の国分寺内とも考えられている。この間、幕府に擁立されて(4)天皇が即位するが、河内の楠木正成、播磨の赤松氏などが反幕府の動きを見せて、後醍醐天皇は配流地からもどって再び倒幕をめざした。

(C) 14世紀、この地は北方地域と畿内を結ぶ日本海交易の拠点となっていた。発掘によって領主館・寺院・町屋敷・港湾施設も明らかになり、国史跡に指定されている。蝦夷地と呼ばれた北海道へは、津軽の(5)氏の支配下にあった和人が渡島半島南部に居住するようになった。彼らは、館主といわれる領主として勢力を伸ばし、アイヌとの軋轢も生まれ、1457年(6)たちを中心に蜂起し、和人の館を次々に攻め落とした。これに対して上之国の領主蠣崎氏

が鎮圧を進めたが、この後も権益を侵されたアイヌの抵抗は続いた。

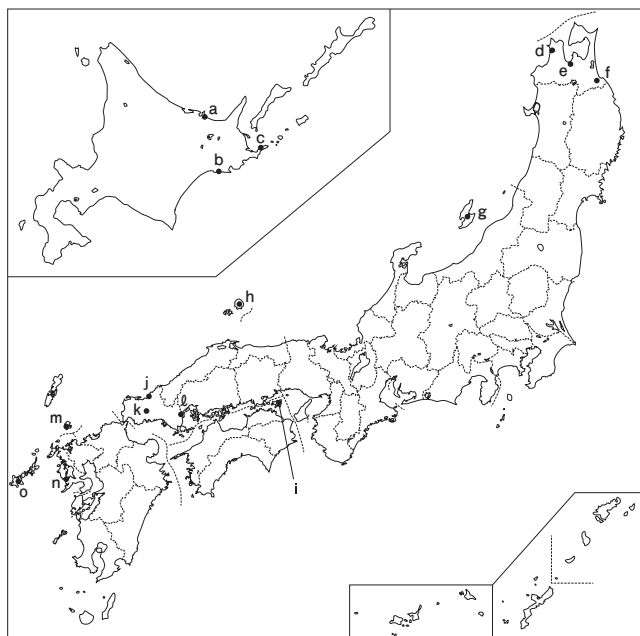
(D) 室町時代には、守護大名の拠点を中心に都市が発達した。応仁の乱により、京都から公家や僧侶が地方に移住して文化が展開した。大内氏が拠点としたこの地は、五山の禅僧や公家が集まり繁栄をみせた。画家の(7)も京都で学んだ後、この地に居所を置き、さらに明にも渡った。彼の代表作には、「秋冬山水図」「四季山水図巻(山水長巻)」などがある。大内義隆は、豊後の(8)とともにイエズス会宣教師を保護したことも知られている。

(E) ロシアは、17世紀にシベリアを領土にすると18世紀には北太平洋に目を向け始めた。ロシアが南下して蝦夷地周辺に姿をみせるようになると、日本国内でも危機感を持つ者も出てきて、仙台藩医(9)は老中田沼意次に『赤蝦夷風説考』を献じて、蝦夷地開発とロシアとの交易を説いた。田沼はこれを受けて(10)らを蝦夷地の調査に派遣した。しかし、田沼の失脚によって蝦夷地開発は進まなかった。1792年には、ついにロシア使節ラクスマンがこの地に来て通商を求めた。

〔語群〕

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| (ア) 高句麗 | (イ) 大友義鎮 | (ウ) 光明 |
| (エ) 奄然 | (オ) 安達泰盛 | (カ) 光厳 |
| (キ) シャクシャイン | (ク) 成尋 | (ケ) 最上徳内 |
| (コ) 明兆 | (サ) 安藤(安東) | (シ) 大村純忠 |
| (ス) 阿弭流為 | (セ) 安藤昌益 | (ソ) 西夏 |
| (タ) 伊達 | (チ) 有馬晴信 | (ツ) 伊能忠敬 |
| (テ) 林子平 | (ト) 間宮林蔵 | (ナ) 松前 |
| (ニ) 如拙 | (ヌ) 円珍 | (ネ) 渤海 |
| (ノ) 平頼綱 | (ハ) 雪舟 | (ヒ) コシャマイン |
| (フ) 工藤平助 | (ヘ) 花園 | (ホ) 長崎高資 |

《地图》



(以上)

2026 年度 入 学 試 験 問 題

日 本 史

注 意 事 項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙はすべて黒鉛筆(HB)〈シャープペンシルは、HB 0.5 mm 以上の芯であれば使用可〉で記入することになっています。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- III 解答用紙右端の出席票に印刷されている受験番号を確認してください。間違いがなければ氏名欄に署名し、切取線から切り離してください。
- IV 試験時間は 60 分です。
- V 問題は 12 ページで大問 4 問です。

マーク記入上の注意

1. 解答欄にマークするときは、HB の黒鉛筆で次の正しい例のように、濃く正確にぬりつぶしてください。

2. マークのしかた

(ア) 正しい例

a 解答が1つの場合、例えばイと解答するときは
(1)

○	●	○	○	○
---	---	---	---	---

 のように、マークしてください。

b 解答が2つの場合、例えばイとウと解答するときは
(1)

○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

 または (1)

○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

 のように各1つずつマークしてください。

(イ) 悪い例

(1)	○	○	○	○	○
(2)	○	○	○	○	○
(3)	○	○	○	○	○
(4)	○	○	○	○	○
(5)	○	○	○	○	○

○印でかこむ。
全部をぬりつぶしていない。
レ印をつける。
|印をつける。
1欄に2つ以上マークする。

このような記入をしてはいけません。

3. 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。
(1)

○	○	○	○	○
---	---	---	---	---

 のように×印をしても消したことはありません。

4. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、また汚したりしないでください。

〔I〕 次の(A)～(E)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 古代の人びとは、山や樹木・巨大な岩などに神が宿ると考えて、祭祀の対象としていた。また、呪術によって神の判断をおおぐ場合があった。鹿の骨を焼いて、その割れ目の形から神の意志を読み取る(1)は、その一例である。
6世紀頃から「クニ」の起源を説明する神話や伝承がまとめられるようになり、8世紀にそれらをもとにして、『古事記』と『日本書紀』が編纂された。『古事記』を筆録したのは(2)である。

(B) 日本に朝鮮半島を経由して公式に仏教が伝わったのは、6世紀中頃のことである。飛鳥時代から奈良時代にかけて、天皇家や貴族の保護のもと仏教が日本に広まると、日本古来の神々と仏教を結びつける思想が生まれる。平安時代には、寺院のなかに鎮守神をまつようになり、その思想を背景に作られた(3)はこの時代の代表的な彫刻作品である。自然のなかでの修行を重視する密教と、山に神々の存在を見出す山岳信仰とが結びついた修験道も日本独自の信仰形態であり、石川、福井、岐阜3県にまたがる(4)などがその聖地とされた。

(C) 平安時代は、恨みを残して死んだ人が怨霊となって社会に災いをもたらすという考えから、怨霊を鎮めるための祭祀が行われるようになった。疫病の終息を願って始まった京都の(5)も、その一つである。鎌倉時代に描かれた『北野天神縁起絵巻』には、政敵の策謀により大宰府に左遷され、同地で無念の死を遂げた(6)が、雷神となって平安京の清凉殿を襲い、落雷から逃げまどう貴族たちの様子が描かれている。

(D) 平安時代の貴族の生活は、古代に中国から伝わり日本で独自に発展した陰陽道に大きく影響されていた。それにしがたい、災いをさけるため特定の日に外出をひかえる(7)など、日常の行動にさまざまな慣習が設けられた。祈禱や占いを専門に行う者も現れ、なかでも当時の政権の中心人物であった(8)と交流があった安倍晴明は、神秘的な能力を備えた人物として、インド・中国・日本の説話を集めた『今昔物語集』など、多くの文学作品に登場している。

(E) 鎌倉時代の仏教界は南都六宗・天台宗・真言宗といった顕密仏教が依然として勢力をもっていた。また、仏教の改革を主張する人々も出てきた。これにより仏教が庶民など広い階層の生活・文化に大きな影響力をもった。鎌倉時代後期になると、度会家行が『(9)』を著し、日本古来の神々を主、仏を従とする伊勢神道を提唱した。室町時代には、(10)がその考え方をさらに発展させ、仏教や儒学の根源に神道を位置付ける唯一神道を創唱して、神道の優位を示そうとした。

〔語群〕

- | | | |
|-----------------|---------------|----------|
| (ア) 白山 | (イ) 賀茂祭 | (ウ) 一条兼良 |
| (エ) 東大寺僧形八幡神像 | (オ) 物忌 | (カ) 源高明 |
| (キ) 神皇正統記 | (ク) 舍人親王 | (ケ) 大峰山 |
| (コ) 託宣 | (サ) 英彦山(彦山) | (シ) 藤原道長 |
| (ス) 聖教要録 | (セ) 稗田阿礼 | (ソ) 早良親王 |
| (タ) 方違 | (チ) 太占 | (ツ) 桂庵玄樹 |
| (テ) 類聚神祇本源 | (ト) 葉師寺僧形八幡神像 | (ナ) 太安万侶 |
| (ニ) 平清盛 | (ヌ) 盟神探湯 | (ネ) 藤原良房 |
| (ノ) 春日祭 | (ハ) 吉田兼俱 | (ヒ) 大蔵 |
| (フ) 東大寺法華堂執金剛神像 | (ヘ) 祇園祭 | (ホ) 菅原道真 |

〔Ⅱ〕 次の(A)～(C)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 17 世紀になると、交通の発達もあって商人たちは問屋・仲買・小売に分化した。問屋・仲買のなかには同業者組合である(1)をつくって営業独占をはかる者も現れた。幕府は最初、糸割符商人など特定の業種をのぞき、これを認めていなかったが、17 世紀後半には商品の供給や品質の管理の必要もあって認めるようになった。

全国市場が確立し、海運が活発になると、江戸・大坂間の荷物運送の安全、海損の共同保障、流通の独占を目指して、多様な職種からなる問屋(1)の連合組織がつくられた。それらのうち江戸の十組問屋は、江戸・大坂間の物資を運んだ(2)の海難に備えて廻船問屋と取り決めをするため組織された。

問屋の活動範囲は全国におよび、大商人たちの中には、(3)出身の三井家のように、両替商を兼ねて三都などに店舗を展開する者もいた。

(B) 開国以後、日本の綿業は安価なイギリス製綿製品に圧迫されて一時衰えた。しかし綿織物生産は、原料糸に輸入綿糸を用い、(4)が発明した飛び籽を取り入れて手織機を改良し、農村の問屋制家内工業を中心に、しだいに上向いていった。このような綿織物業の回復が、原料糸を供給する紡績業の勃興の前提となった。

明治 16 年(1883)には、渋沢栄一らが設立した(5)が開業した。最新のイギリス製の紡績機械やその動力源として(6)機関を導入して、原料は安い中国綿花を輸入し、低賃金の労働者を昼夜二交代制で働かせて、大規模経営に成功した。これに刺激されて、新たに商人たちが会社を設立する動きが高まり、機械による綿糸生産が急増した。また、明治 8 年(1875)に渋沢が頭取となった国立銀行は、のちに改称して普通銀行となり、戦後の銀行再編のなかで(7)銀行となった。

〔Ⅲ〕 次の(A)～(C)の各史料に関する問 1～問15 について、(ア)～(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

(A) 一 足かるといふ者、長く停止せらるへき事
① (中略) 此たひはしめて出来る足かるは、超過したる(2)也。其故は洛中・洛外の諸社・諸寺・五山・十刹・公家・門跡の滅亡は、かれらか所行也。かたきのたて籠たらん所にきては力なし。さもなき所々を打やふり、或は火をかけて財宝を見さくる事は、ひとへにひる強盗といふへし。かゝるためしは先代未聞のこと也。是はしかしながら、武芸のすたる、所にかゝる事は出来れり。名有侍のたゝかふへき所をかれらにぬき、せたるゆへなるへし。されは随分の人の足輕の一矢に命をおとして、当座の恥辱のみならず、末代までの瑕瑾を残せるたくひも有とぞ聞えし。

〔樵談治要〕

問 1 この史料は、ある人物の求めに応じて一条兼良が著した政治意見書の一節である。その人物は誰か。

(ア) 足利義政 (イ) 足利義尚 (ウ) 足利義視

問 2 下線部①の「足かる」は、軽装の歩兵である足輕のことである。足輕が応仁の乱で活動する様子を描いたことで知られる絵巻物は何か。

(ア) 『真如堂縁起絵巻』 (イ) 『慕屋絵詞』 (ウ) 『春日権現験記絵』

問 3 文中の(2)に入る語句は何か。

(ア) 忠臣 (イ) 土民 (ウ) 悪党

問 4 下線部③の「五山」について、後醍醐天皇の冥福を祈るため、夢窓疎石を開山として足利尊氏が創建した寺はどこか。

(ア) 建仁寺 (イ) 天龍寺 (ウ) 相国寺

(C) 明治期の日本は、農業従事者がなお半数をこえる農業社会であった。米作は、品種改良や金肥の普及により生産量が増えたが、米食の普及や都市人口の膨張にともなう需要の増加をすべて満たすことはできなかった。

貿易と国内工業の発達にともなって、農家も商品経済に深く巻き込まれていった。安価な輸入品におされて生産が減少する作物があった。他方で、明治 42 年(1909)には日本は世界第 1 位の(8)輸出国になった。

農家は零細な経営が圧倒的に多かった。米価の上昇が続くなかで土地を集積した大地主は、農業経営から離れ小作料収入に依存する寄生地主へと変化した。寄生地主のなかには(9)の多額納税者議員となるものもあった。日露戦争後、農業生産の停滞や農村の困窮が社会問題となると、内務省を中心として(10)運動が進められた。

〔語群〕

(ア) 鐘淵紡績会社	(イ) 仲間	(ウ) 内海船
(エ) 豊田佐吉	(オ) 富士	(カ) 電気
(キ) 水力	(ク) 樽廻船	(ケ) 農山漁村経済更生
(コ) 砂糖	(サ) 大日本紡績会社	(シ) 加賀
(ス) 菱垣廻船	(セ) ジョン=ケイ	(ソ) 茶
(タ) 三和	(チ) 憲政擁護	(ツ) 貴族院
(テ) 座	(ト) 越後	(ナ) 大阪紡績会社
(ニ) 枢密院	(ヌ) 生糸	(ネ) 講
(ノ) 地方改良	(ハ) 蒸気	(ヒ) 臥雲辰致
(フ) 伊勢	(ヘ) 衆議院	(ホ) 第一勸業

問 5 この史料について述べた文として誤っているものは、次のうちどれか。
(ア) 名声のある武士が自分で戦うべきところを足輕に任せている。
(イ) 京都とその周辺の寺社や公家が衰退するのは足輕の仕業である。
(ウ) 敵が立てこもるところを足輕が打ち破っている。

(B) 一 (4)を励し、礼儀を正すべき事。
一 養子は同姓相応の者を撰び、若乏無きにおみては、由緒を正し、存生の内言上致すべし。五拾以上十七以下の輩末期に及び養子致すと雖も、吟味の上之を立つべし。縦、実子と雖も筋目違たる儀、之を立つべからざる事。
附、(5)の儀、弥制禁せしむる事。
天和三年七月廿五日

〔御触書寛保集成〕

問 6 この史料は、天和 3 年(1683)に 5 代將軍徳川綱吉が出した武家諸法度である。綱吉を將軍にすることに尽力し、のちに大老となった人物は誰か。

(ア) 堀田正俊 (イ) 柳沢吉保 (ウ) 酒井忠清

問 7 文中の(4)に入る語句は何か。

(ア) 文道武芸 (イ) 文武弓馬 (ウ) 文武忠孝

問 8 文中の(5)に入る語句は何か。

(ア) 切支丹 (イ) 殉死 (ウ) 徒党

問 9 徳川綱吉の治世には、和歌に関する学問をつかさどる歌学方が幕府に設置された。この役職に任じられたのは誰か。

(ア) 戸田茂睡 (イ) 北村季吟 (ウ) 契沖

問10 この史料について述べた文として正しいものは、次のうちどれか。

- (ア) 当主の一族に養子として適当な者がいなければ由緒の正しい者を選び、幕府へ報告することが必要である。
- (イ) もし当主に実子がいれば、たとえ何らかの事情があっても跡継ぎに立てるべきである。
- (ウ) 50歳以上や17歳以下の当主が臨終の際には、養子を立てることができない。

- (C) 近年御物入相重^{そのいりあいかさな}り候上、凶作等打続き、御手当御救^{おすらいすじ}筋莫大に及び候に付、追々御儉約^{おほいだ}の儀仰せ出され候得共、天下の御備^{そなえ}御手薄^{これ}二之有り候ては相済まざる儀ニ思召^{おもほしめ}し候。之に依り、享保の御例を以て上納米も仰せ付らるべく候得共、当時不如意^{おあき}多^{かつ}の儀、且凶作等^⑥にて難渋^{みづり}の砌^{みづり}も候得ば、御沙汰に及ばれず候。然しながら広大の御備の儀ニ候得ば、当時の御儉約のミを以て、其手当ニ仰せ付けらるべき様も之無く候間、高壺万石ニ付(⑦)石の割合を以て、米^{きたる}戌年より寅年迄五ヶ年の間、面々^{りようほう}領邑^{りようほう}ニ囲穀いたし候様に仰せ出され候。
- (『御触書天保集成』)

問11 この史料は、寛政元年(1789)に幕府より出された法令である。そのときの将軍で、松平定信の補佐を受けた将軍は誰か。

- (ア) 徳川家定 (イ) 徳川家斉 (ウ) 徳川家重

問12 下線部⑥の「享保」は、8代将軍徳川吉宗の治世のことである。吉宗が行った政策は次のうちどれか。

- (ア) 漢訳された洋書の輸入制限を緩和した。
- (イ) 中国人を居住させるため長崎に唐人屋敷を設けた。
- (ウ) オランダ船との貿易を年間で銀3000貫目に制限した。

問13 文中の(⑦)に入る語句は何か。

- (ア) 五十 (イ) 八十 (ウ) 百

〔Ⅳ〕 次の写真①～⑤を見て、(A)～(E)各文の(1)～(15)に入れるのに最も適当な語句を(ア)～(ウ)の中から選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 写真①は、大阪府河内長野市にある観心寺の(1) (ア) 不空罽索観音像 (イ) 如意輪観音像 (ウ) 百済観音像}で、^{おの}櫃の木に彫った6本の手持つ仏像である。現在も年に2日しか開扉されない秘仏として伝わっているため、造立当初の色彩がよく残っている。同寺に伝わる「観心寺縁起資財帳」の記述やこの仏像自身の特徴から、(2) (ア) 8世紀 (イ) 9世紀 (ウ) 10世紀}の半ばに作られたと考えられている。

鎌倉時代末期には、観心寺がある南河内の土豪であった楠木正成が幕府軍に抵抗し、建武の新政では河内・和泉の守護に任命された。しかし、足利尊氏と戦った(3) (ア) 湊川の戦い (イ) 石津の戦い (ウ) 四條畷の戦い}で敗れ、観心寺境内には首塚がある。

- (B) 豊臣秀吉の朝鮮出兵で、出陣した西国の大名たちが朝鮮人陶工を連行して帰国し、これらの陶工たちによって福岡藩の(4) (ア) 九谷焼 (イ) 萩焼 (ウ) 高取焼}など、各地で陶器の窯が開かれた。江戸時代になると、有田の陶工だった(5) (ア) 野々村仁清 (イ) 酒井田柿右衛門 (ウ) 尾形乾山}が赤絵の磁器を初めて作り、その陶芸技術を発展させた。

国内で製造された陶磁器は、長崎を経由してヨーロッパに輸出されるようになった。その際、輸送中の破損を防ぐための包み紙や詰め物として、大量の浮世絵もヨーロッパに運ばれたと考えられている。19世紀後半には、それらの浮世絵に影響を受けたヨーロッパの印象派やポスト印象派の画家たちが、作品に取り入れるようになった。写真②は、その一人(6) (ア) クロード・モネ (イ) エドゥアール・マネ (ウ) フィンセント・ファン・ゴッホ}の作品で、歌川広重の「名所江戸百景 大はしあたけの夕立」を模写したものだとしている。

問14 松平定信による幕政の改革では、風俗を乱すとして多くの戯作者や葛屋重三郎らの出版業者が処罰された。葛屋は浮世絵の出版も多く手がけたが、東洲斎写楽の作品は次のうちどれか。

- (ア) 「神奈川沖浪裏」 (イ) 「ボッピンを吹く女」 (ウ) 「市川鯉藏」

問15 この史料について述べた文として誤っているものは、次のうちどれか。

- (ア) 凶作などが続き、それへの対応や救済のために幕府は多大な出費を要した。
- (イ) 幕府の備えが手薄であるため、領主たちは幕府に米を上納するよう命じられた。
- (ウ) 翌戌年から寅年までの5年間、それぞれの領主は領内に米穀を備蓄するよう幕府から命じられた。

- (C) 明治新政府は西洋の学問や技術を導入するため、政府の機関や学校に欧米人を雇用し、彼らはお雇い外国人とよばれた。その一人、(7) (ア) ラファディオ・ハーン (イ) ウィリアム・グリフィス (ウ) ジェームス・ヘボン}は松江の中学校の英語教師となり、のちには東京大学でも英文学を講じた。彼の著作として、『知られぬ日本の面影』などがある。

写真③の作者(8) (ア) チャールズ・ワグマン (イ) ジョルジュ・ビゴー (ウ) エドアルド・キヨソネ}も、来日して陸軍士官学校の画学教師となった。契約が終わってからも外国人居留地に居住し、その頃発刊された雑誌類に漫画を載せた。この絵の題材は、不平等条約を改正するために外務卿の(9) (ア) 井上馨 (イ) 大隈重信 (ウ) 寺島宗則}が鹿鳴館を建て、連日舞踏会を催して西洋化を図ろうとしたことを皮肉った風刺画である。

- (D) 11世紀になると、新しい土地を開いた開発領主が私領の土地を有力な寺社や貴族などに寄進し、下司や公文などの荘官に任じられて保護下に入った。寄進を受けた寺社や貴族の中には、さらに天皇家や摂関家へ荘園を寄進して本家となってもらい、自らは領家となった者もあった。これらの荘園領主たちは、自分たちの土地に検田使などの国衙の役人の立ち入りを拒否する不入の権、太政官や(10) (ア) 中務省 (イ) 治部省 (ウ) 民部省}から租税免除などの特権である不輸の権を得るようになった。

院政が始まると、在地領主や下級貴族は上皇が建立した寺院に荘園を寄進し、その保護下に入った。このようにして後白河上皇のもとに集積した荘園群は、(11) (ア) 八条院領 (イ) 室町院領 (ウ) 長講堂領}とよばれている。

写真④は、後白河法皇から(12) (ア) 神護寺 (イ) 根来寺 (ウ) 東寺}に寄進された^{みせだのしょう}柿田荘の絵図で、黒い点は^{ぼうじ}勝示とよばれる荘園の境界を表す標識である。この絵図からは、耕地だけではなく、集落や山野河川も荘園の範囲に入っていたことがわかる。

(E) 平安時代後期の絵画としては、仏を描いた仏画のほかに、経典の下絵に貴族や庶民の姿を大和絵で描いた装飾経や絵巻物の作品が残っている。平家一門が（ 13 ）{(ア) 安芸国 (イ) 備前国 (ウ) 長門国}の厳島神社に奉納した「平家納経」は、絵画だけではなく金銀透彫の金具や砂子や切箔を施した当時の工芸技術の高さを伝える作品である。

また、一場面を段落的に描く作品から、長いストーリーを長大な画面に連続して描いていく絵巻物も編み出された。写真⑤は、（ 14 ）{(ア) 高山寺 (イ) 朝護孫子寺 (ウ) 清浄光寺}を中興した命蓮という僧を主人公とした霊験譚を描いた絵巻物の一場面である。彼の姉が弟を探すために東大寺の大仏殿に参籠し、夢の中で弟の所在を知らされる場面で、治承4年(1180)の（ 15 ）{(ア) 平重盛 (イ) 平維盛 (ウ) 平重衡}による南都焼き打ち以前の大仏の様子が描かれている。

写真①



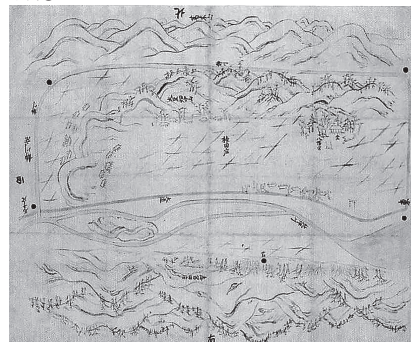
写真②



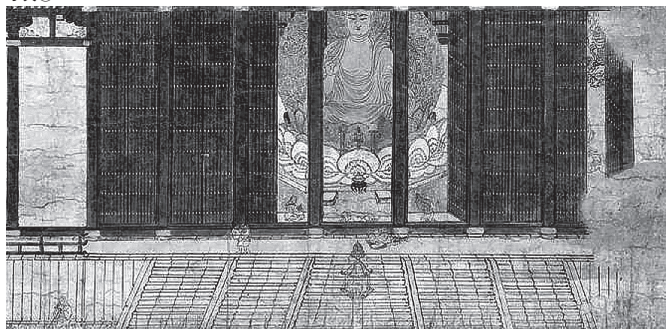
写真③



写真④



写真⑤



(以上)